

北海道議会時報

令和7年第4回定例会
決算特別委員会（令和6年度）

北海道議会事務局

も く じ

議会日誌	1
令和7年度補正予算の概要	2
定例会	
概要	4
本会議	6
提出案件	11
議決案	14
意見案	16
請願	21
委員会	
議会運営委員会	22
常任委員会	25
総務委員会	
総合政策委員会	
環境生活委員会	
保健福祉委員会	
経済委員会	
農政委員会	
水産林務委員会	
建設委員会	
文教委員会	
連合審査会	33
特別委員会	35
産炭地域振興・GX推進・エネルギー調査特別委員会、総務委員会連合審査会	
産炭地域振興・GX推進・エネルギー調査特別委員会	
北方領土対策特別委員会	
新幹線・総合交通体系対策特別委員会	
人口減少問題・地方分権改革等調査特別委員会	
子ども政策調査特別委員会	
食と観光調査特別委員会	
予算特別委員会	40
決算特別委員会	46
資料	
令和7年提出案件の議決状況	53
令和7年請願の審査状況	53
令和7年議員又は委員会提出案件一覧	54
令和7年請願一覧	56
北海道議会議席表	58
11月・12月の出来事	59

本会議及び委員会の詳細については、
会議録をご覧ください。



本書においては、便宜上、会派の名称を
次のとおり表記した。

自民党・道民会議	-----	自民
民主・道民連合	-----	民主
北海道結志会	-----	結志
公明党	-----	公明
日本共産党	-----	共産
北海道維新の会	-----	維新

議 会 日 誌

▶11月

- 5 日(水) 各常任委員会
- 6 日(木) 各特別委員会
産炭地域振興・GX推進・エネルギー調査特別委員会、総務委員会連合審査会
- 7 日(金) 決算特別委員会（企業会計審査）
- 10日(月) 決算特別委員会第1・第2分科会
（各部所管審査）
- 11日(火) 決算特別委員会第1・第2分科会
（各部所管審査）
- 12日(水) 決算特別委員会第1・第2分科会
（各部所管審査）
- 13日(木) 決算特別委員会
（各分科委員長報告、総括質疑等）
- 19日(水) 議会運営委員会
- 20日(木) 産炭地域振興・GX推進・エネルギー調査特別委員会、総務委員会連合審査会
- 21日(金) 産炭地域振興・GX推進・エネルギー調査特別委員会、総務委員会連合審査会
- 25日(火) 議会運営委員会
各常任委員会
各特別委員会
- 26日(水) 議会運営委員会
【第4回定例会開会】
本会議（会議録署名議員の指定、会期決定、提案説明、前会より継続審査の議案等可決・認定議決）
- 28日(金) 議会運営委員会
本会議（一般質問）

▶12月

- 2 日(火) 議会運営委員会
本会議（一般質問）
- 3 日(水) 議会運営委員会
本会議（一般質問、予算特別委員会設置等）
予算特別委員会（正・副委員長の互選、2分科会設置）
予算特別委員会第1・第2分科会
（正・副委員長の互選）
- 5 日(金) 予算特別委員会第1・第2分科会
（各部所管審査）
- 8 日(月) 予算特別委員会第1・第2分科会
（各部所管審査）
- 9 日(火) 予算特別委員会第1・第2分科会
（各部所管審査）
- 10日(水) 予算特別委員会
（各分科委員長報告、総括質疑等）
- 11日(木) 各常任委員会
各特別委員会
※新幹線・総合交通体系対策特別委員会を除く
- 12日(金) 議会運営委員会
本会議（各委員長報告、追加提案説明・質疑・議案可決、追加提案説明・同意議決、決議案2件否決、意見案5件可決）

【第4回定例会閉会】

令和 7 年度補正予算の概要

次のとおり補正予算について審議し、可決

○令和 7 年度一般会計補正予算（第 4 号）

（単位 千円）

歳 入		歳 出	
地 方 交 付 税	4, 5 5 3, 4 5 9	議 会 費	1 4, 4 3 5
国 庫 支 出 金	6, 8 9 1, 6 2 8	総 務 費	1, 0 8 3, 7 6 5
財 産 収 入	1 1, 2 8 0	総 合 政 策 費	5 3 1, 0 7 8
寄 附 金	6 7 0, 8 2 4	環 境 生 活 費	8 1, 2 6 8
繰 入 金	3, 0 9 6, 7 8 3	保 健 福 祉 費	4 9 5, 5 2 5
諸 収 入	1 6, 0 8 9	経 済 費	1 3 5, 9 0 5
道 債	3, 9 5 2, 0 0 0	農 政 費	2 6 4, 2 0 0
繰 越 金	5, 5 2 7, 0 3 8	水 産 林 務 費	5 0 4, 7 8 9
		建 設 費	2, 3 1 2, 4 0 6
		警 察 費	3, 2 6 6, 3 2 4
		教 育 費	8, 8 6 7, 1 5 8
		災 害 復 旧 費	6, 8 9 9, 4 0 5
		諸 支 出 金	2 6 2, 8 4 3
計	2 4, 7 1 9, 1 0 1	計	2 4, 7 1 9, 1 0 1

○令和 7 年度特別会計補正予算

（単位 千円）

会 計 名	金 額
中小企業高度化資金貸付事業等特別会計	4 8, 9 7 4
計	4 8, 9 7 4

令和 7 年第 4 回定例会で可決した一般会計補正予算は、総額約247億1,900万円。

歳出予算の主なものは、本年発生した大雨災害などにより被災した施設の早期復旧等を図るため、土木施設、耕地などの災害復旧事業費71億1,200万円、災害関連事業費7,200万円、公共事業の端境期における効率的な執行を確保するため、道の単独事業について前倒しで実施することとし、道路、河川などの特別対策事業費17億5,100万円、公共関連単独事業費 3 億8,100万円、所要の債務負担行為を含め、総額60億円。道職員等の給与費について、本年度の人事委員会勧告などを踏まえ、所要の措置を講じることとし、総額146億8,600万円。

これらに見合う歳入予算の主なものは、地方交付税45億5,300万円、国庫支出金68億9,100万円、道債39億5,200万円、繰越金55億2,700万円。

○令和7年度一般会計補正予算（第5号）

（単位 千円）

歳 入		歳 出	
地 方 交 付 税	9, 2 0 4	環 境 生 活 費	4 6, 0 2 0
国 庫 支 出 金	2, 9 1 0, 9 4 8	経 済 費	2, 8 7 4, 1 3 2
計	2, 9 2 0, 1 5 2	計	2, 9 2 0, 1 5 2

令和7年第4回定例会で追加提案され可決した一般会計補正予算は、総額約29億2,000万円。

歳出予算は、L P ガス料金の高止まりにより影響を受けている利用者の負担軽減を図るため、販売事業者を通じて料金の値引きを実施することとし、L P ガス利用者緊急支援事業費27億6,300万円、来春期におけるヒグマの管理捕獲を一層効果的に行えるよう、市町村が体制強化を図る際に必要となる経費を支援することとし、ヒグマ対策推進費4,600万円。

これらに見合う歳入予算の主なものは、国庫支出金29億1,000万円。

定 例 会

▶ 総額276億8,800万円余の令和7年度補正予算を可決 ◀

概 要

- ① 令和7年度補正予算案等を審議する**第4回定例会**は、**11月26日に招集**され、会議録署名議員の指定、諸般の報告、議員派遣の報告を行い、**会期を12月12日までの17日間**と決定。

次に、**総額247億6,800万円余の令和7年度補正予算案を含む議案25件及び報告4件**が提出され、知事から提出議案に関する説明。

次に、前会より継続審査の**令和6年度北海道電気事業会計未処分利益剰余金の処分に関する件、令和6年度各会計歳入歳出決算及び各事業会計決算**について、決算特別委員長から報告の後、討論、採決の結果、議案は**原案可決**、報告は**認定議決**。

その後、議案等調査のため、11月27日の本会議を休会することに決定して散会。

- ② 11月28日から**一般質問**に入り、12月3日に終結。直ちに**予算特別委員会を設置し、議案第10号ないし第12号を子ども政策調査特別委員会**に付託することに決定し、残余の議案を各委員会に付託。

次に、各委員会付託議案等審査のため、12月4日から12月5日まで及び12月8日から12月11日までの本会議を休会することに決定して散会。

- ③ **予算特別委員会**は、12月3日に正・副委員長の互選を行い、2分科会を設置。

12月5日から各分科会において各部所管の審査に入り、12月9日に終了。12月10日に各分科委員長報告の後、総括質疑を行い、付託議案に対する質疑を終結。採決の結果、いずれも**原案可決**。

なお、審査の経緯に鑑み、複合災害時における避難道路や放射線防護施設等の整備について、早期実施の確約と整備スケジュールの策定を、国に対して求め、また、履行されない場合においては、泊発電所3号機再稼働に係る同意については撤回することについて動議が提出され、採決の結果、**否決**。

- ④ 会期最終日の12月12日は、各付託議案に対する各委員会の委員長報告の後、討論を行い、採決の結果、委員長報告のとおり**原案可決**。

次に、**総額29億2,000万円余の令和7年度補正予算案**が追加提案され、知事から提出議案に関する説明の後、質疑に入り、採決の結果、異議なく**原案可決**。

次に、**北海道収用委員会委員の選任につき同意を求める件の人事案件**が追加提案され、知事から提案説明の後、委員会付託を省略し、採決の結果、異議なく**同意議決**。

次に、**決議案第1号「北海道電力泊発電所3号機再稼働における拙速な同意の撤回と十分な審議時間の保障を求める決議」**が提案され、説明の後、委員会付託を省略し、採決の結果、**否決**。

次に、**決議案第2号「北海道のエネルギー供給体制の確立と泊発電所3号機再稼働について慎重審議を求める決議」**が提案され、説明の後、質疑に入り、委員会付託を省略し、採決の結果、**否決**。

次に、**意見案第1号「教育課程の過密化の適正化を求める意見書」等5件**が提案され、説明及び意見案第1号ないし第3号の委員会付託を省略し、採決の結果、いずれも異議なく**原案可決**。

最後に、閉会中請願継続審査及び事務継続調査の件について異議なく決定の後、**閉会**。

⑤ 提出案件の議決状況は次のとおりである。

提 出 者	件 数	議 決 状 況					報告のみ
		原案可決	同意議決	承認議決	認定議決	否 決	
知 事	31(7)	26(1)	1		(6)		4
議員・委員会	7	5				2	
計	38(7)	31(1)	1		(6)	2	4

注：（ ）内は、継続審査に係る議決件数を示した外数である。

本 会 議

■11月26日（水）

午前11時10分開会、伊藤条一議長、令和7年第4定例会の開会を宣し、

日程第1 会議録署名議員の指定を行い、諸般の報告の後、議員派遣の報告。

日程第2 会期決定の件を議題とし、今期定例会の会期を本日から12月12日までの17日間と決定。

日程第3 議案第1号ないし第25号を議題とし、知事から提出議案に関する説明。

日程第4 前会より継続審査の議案第18号及び報告第1号ないし第6号を議題とし、決算特別委員長から委員会における審査の経過と結果について報告の後、討論に入り、真下紀子議員（共産）から、報告第1号、第2号及び第5号に関する反対討論があって、討論終結。

採決に入り、報告第1号、第2号及び第5号を問題とし、委員長報告（いずれも認定議決）のとおり決することについて、起立採決の結果、起立多数により認定議決。

次に、議案第18号、報告第3号、第4号及び第6号を問題とし、委員長報告（議案は可決、報告はいずれも認定議決）のとおり決することについて、異議なく議案は可決、報告は認定議決。

議案等調査のため、11月27日の本会議を休会することに決定し、午前11時34分散会。

■11月28日（金）

午後1時1分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第25号を議題とし、**一般質問**に入り、



滝口 直人 議員（自民）から、

- 1 道政上の諸課題について
 - ・ 泊発電所について
 - ・ ヒグマ対策について
 - ・ 財政運営について
 - ・ 地震・津波対策について

- ・ 北海道創生総合戦略について
- ・ 北海道グローバル戦略について
- ・ ケアラー支援について
- ・ 子育て支援施策について
- ・ ギャンブル等依存症対策について
- ・ 統合型リゾートについて
- ・ 宿泊税について

- ・ 北海道半導体・デジタル関連産業振興ビジョンについて

- ・ 本道農業の振興について
- ・ 水産物の資源管理などについて
- ・ アキサケの資源対策について
- ・ 気候変動を踏まえた河川整備などについて

2 教育問題について

- ・ 改正給特法等を踏まえた対応について
- ・ 部活動の地域展開について
- ・ 教職員の不祥事の防止への対応について

等について質問があり、知事、教育長及び警察本部長他から答弁。同議員から発言。真下紀子議員より議事進行に関する発言があって、議事進行の都合により午後2時28分休憩。午後2時51分再開し、知事から発言訂正の説明。議事進行の都合により午後2時53分休憩。午後3時32分再開し、



中川 浩利 議員（民主）から、

1 知事の政治姿勢について

- ・ 北海道の未来像について
- ・ 政策の全道波及について
- ・ グローバル戦略に係る対応について

2 行財政運営について

3 防災・減災について

4 医療・福祉課題について

5 建設政策について

6 経済と雇用対策について

7 観光施策について

8 エネルギー政策について

9 地域交通政策について

10 ヒグマ対策について

11 高病原性鳥インフルエンザ対策について

12 第1次産業の振興について

- ・ 農業政策について

- ・ 水産政策について

13 人権等施策について

14 北方領土返還要求運動等について

15 教育課題について

- ・ 給特法改正の影響について

- ・ 教員等の働き方改革について

等について質問があり、知事及び教育長他から答弁。同議員から再質問があって、知事から答弁。中川浩利議員より議事進行に関する発言があって、議事進行の都合により午後5時41分休憩。午後5時59分再開。休憩前の議事を継続し、同議員から再々質問があって、知事から答弁。同議員から発言。

議案等調査のため、12月1日の本会議を休会す

ることに決定し、午後 6 時21分散会。

■12月 2 日（火）

午前10時 1 分開議、諸般の報告の後、

日程第 1 議案第 1 号ないし第25号を議題とし、
一般質問を継続し、



水間 健太 議員（自民） から、

- 1 ワイン産業の振興について
- 2 観光振興について
- 3 国民健康保険事業について
- 4 文化芸術振興について
- 5 特別支援教育について

等について質問があり、知事及び教育長他から答弁。



田中 勝一 議員（民主） から、

- 1 働く方々の賃金改善について
- 2 物価高対策について
- 3 ヒグマ対策について
- 4 高病原性鳥インフルエンザへの対応について

- 5 宿泊税の使途について
- 6 泊原発再稼働について
- 7 多様性を認め合う社会について
- 8 道立近代美術館のリニューアルについて
- 9 道立高校へのエアコン設置について

等について質問があり、知事及び教育長他から答弁。同議員から再質問があつて、知事から答弁。同議員から再々質問があつて、知事から答弁。議事進行の都合により午前11時42分休憩。

午後 1 時 1 分再開し、



早坂 貴敏 議員（自民） から、

- 1 中小・小規模事業者に対する支援の在り方について
- 2 北海道における自転車関連施策の推進について
- 3 骨髄移植の推進について

- 4 木育の推進について
- 5 アイヌ施策の推進について
- 6 飲酒運転根絶に向けた取組について

等について質問があり、知事及び警察本部長他から答弁。



石川 さわ子 議員（結志） から、

- 1 泊発電所 3 号機の再稼働について
- 2 高レベル放射性廃棄物の最終処分地選定について
- 3 令和 8 年度重点政策について

- 4 執務環境の整備について

- 5 子どもの権利の理解を広める取組について
- 6 動物愛護の取組について
- 7 国の総合経済対策について
- 8 メガソーラーなど違法な開発行為について
- 9 パワーアップ事業について

等について質問があり、知事及び教育長他から答弁。同議員から再質問があつて、知事から答弁。同議員から発言。議事進行の都合により午後 3 時 7 分休憩。午後 3 時31分再開し、



今津 寛史 議員（自民） から、

- 1 食料安全保障について
- 2 森林資源の活用について
- 3 野生鳥獣対策について
- 4 地域資源活用について
- 5 環境保全について

- 6 外国人材活用について
- 7 シーニックバイウェイ北海道の推進について
- 8 スタンド・オフ・ミサイルの道内配備について

等について質問があり、知事他から答弁。



荒当 聖吾 議員（公明） から、

- 1 景気・経済対策について
- 2 観光問題について
- ・次期「北海道観光のくにくくり行動計画」について
- ・宿泊税について

- 3 I R について
- 4 メガソーラー等について
- 5 泊原発について
- 6 A I ・ D X 政策について
- 7 医師確保対策について
- 8 北海道犯罪のない安全で安心な地域づくり条例について
- 9 狩猟者の育成に向けた研修環境の充実について
- 10 漁業資源の管理の在り方について
- 11 農業問題について
- ・米政策について
- ・農業大学校について
- ・高病原性鳥インフルエンザ対策について
- ・パワーアップ事業について
- 12 教育問題について
- ・道立学校の廃校舎の利活用について
- ・学校のエアコン整備について

等について質問があり、知事及び教育長他から答弁。議事進行の都合により午後 5 時13分散会。

■12月3日（水）

午前10時開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第25号を議題とし、
一般質問を継続し、



林 祐作 議員（自民）から、

- 1 難病患者の就労支援について
- 2 遊漁場について
- 3 地下水資源について
- 4 公共施設における安心安全対策について

5 旭川養護学校について

6 学校給食について

7 サイバーセキュリティ対策について

等について質問があり、知事、教育長及び警察本部長他から答弁。



渕上 綾子 議員（民主）から、

- 1 道民からの意見聴取について
- 2 物価高騰対策について
- 3 信託法を活用した事前の相続対策について
- 4 地域づくり総合交付金について

て

5 福祉灯油について

6 地方創生について

7 ガソリンの暫定税率等の廃止について

8 人口当たりの犯罪件数の推移について

9 多文化共生について

10 デマ情報の防止について

11 入札等について

12 住民基本台帳事務における支援措置申出書に係る確認書について

13 地域医療について

14 弱者男性について

15 エネルギー政策について

16 ヒグマ対策について

17 いじめ対策について

18 性加害の防止について

19 交番の建て替えについて

20 障がい者の投票に関する合理的配慮について

等について質問があり、知事、教育長、選挙管理委員長及び警察本部長他から答弁。同議員から発言。議事進行の都合により午前11時37分休憩。午後1時4分再開し、



小林 雄志 議員（自民）から、

1 僻地の防災・減災対策について

2 道の観光施策について

3 労働者不足が続く中で、これからの働き方について

4 建設管理部における整備部門集約の状況について

5 道立高校における外国人生徒への教育について

等について質問があり、知事及び教育長他から答弁。



宮崎 アカネ 議員（民主）から、

1 病院経営について

・病院の建築について

・ドクターカーについて

2 福祉の取組について

・要約筆記について

・障がいのある子どもへの支援について

3 北海道の環境について

・海岸漂着物地域対策について

4 部活動の地域展開について

5 日本語を話せない子どもの教育と文化について

6 学校給食について

7 エネルギー政策について

等について質問があり、知事及び教育長他から答弁。同議員から再質問があつて、知事から答弁。同議員から発言。



大越 農子 議員（自民）から、

1 「責任ある積極財政」に対する道の認識と対応について

2 人口減少対策について

3 メンタルヘルスについて

4 ゼロカーボン北海道について

5 食品ロス削減の推進について

6 理系人材の育成について

7 道立高校の在り方について

8 いじめ対策について

9 交通事故対策について

等について質問があり、知事、教育長及び警察本部長他から答弁。議事進行の都合により午後3時23分休憩。午後3時48分再開し、



道見 泰憲 議員（自民）から、

- 1 一元管理システムの開発について
- 2 宿泊税の基金創設について
- 3 ウポポイの誘客について

等について質問があり、知事他から答弁。

同議員から再質問があつて、知事から答弁。同議員から発言。



真下 紀子 議員（共産）から、

- 1 新政権の外交姿勢と本道への影響等について
- 2 原発・エネルギー政策等について
- 3 ヒグマ対策について

4 自殺対策等について

5 観光施策等について

等について質問があり、知事、教育長、選挙管理委員長及び警察本部長他から答弁。同議員から再質問があつて、知事から答弁。同議員から再々質問があつて、知事から答弁。同議員から発言。



山崎 真由美 議員（維新）から、

- 1 インクルーシブ公園の整備推進について
- 2 バリアフリー化の推進強化について
- 3 ドローン政策の推進について

等について質問があり、知事他から答弁。質疑並びに質問を終結。

議長から、予算に関する案件について、本会議に27人の委員をもって構成する予算特別委員会を設置し、関係案件を付託の上審査することを諮り、異議なく決定。次の委員を議長指名により選任。

○予算特別委員（27人）

清水 敬弘（民主）	木下 雅之（自民）
小林 雄志（自民）	千葉 真裕（自民）
角田 一（自民）	藤井 辰吉（自民）
前田 一男（自民）	鈴木 仁志（民主）
海野 真樹（公明）	丸山はるみ（共産）
木葉 淳（民主）	小泉 真志（民主）
鈴木 一磨（民主）	佐々木大介（自民）
檜垣 尚子（自民）	渡邊 靖司（自民）
内田 尊之（自民）	桐木 茂雄（自民）
久保秋雄太（自民）	中野 秀敏（自民）
畠山みのり（民主）	笹田 浩（民主）
白川 祥二（結志）	新沼 透（結志）
阿知良寛美（公明）	中司 哲雄（自民）

藤沢 澄雄（自民）

議案第10号ないし第12号を子ども政策調査特別委員会に付託することについて異議なく決定し、残余の議案については、議案付託一覧表のとおりそれぞれ所管の委員会に付託。

各委員会付託議案等審査のため12月4日から12月5日まで及び12月8日から12月11日までの本会議を休会することに決定し、午後5時44分散会。

■12月12日（金）

午後4時10分開議、あらかじめ会議時間を延長し、議事進行の都合により午後4時11分休憩。午後6時28分再開し、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第25号を議題とし、予算特別委員長、総務委員長、総合政策副委員長、環境生活委員長、保健福祉委員長、子ども政策調査特別委員長、農政委員長、建設委員長、経済副委員長及び文教委員長から、それぞれ各委員会における付託議案審査の経過と結果について報告。

討論に入り、丸山はるみ議員（共産）から、議案第6号、第17号、第18号及び第20号に関する反対討論があつて、討論終結。

採決に入り、議案第6号、第17号、第18号及び第20号を問題とし、委員長報告（全て可決）のとおり決することについて、起立採決の結果、起立多数により原案可決。

次に、議案第1号ないし第5号、第7号ないし第16号、第19号及び第21号ないし第25号を問題とし、委員長報告（全て可決）のとおり決することについて、いずれも異議なく原案可決。

日程第2 議案第26号を議題とし、知事から追加提出議案に関する説明の後、議事進行の都合により午後6時59分休憩。午後7時30分再開。

議案第26号に関する質疑に入り、



鈴木 一磨 議員（民主）から、

- 1 提案時期について
- 2 物価高騰対策について
 - ・今回の対策の考え方について
 - ・特別高圧電力利用事業者緊急支援事業費について
 - ・LPガス利用者緊急支援事業費について
 - ・市町村との連携について
 - ・対策分野の考え方について
 - ・今後の対応について

等について質問があり、知事から答弁。



水口 典一 議員（結志） から、

- 1 提案理由について
- 2 物価上昇などについて
- 3 事業の効果検証について
- 4 経済対策について
- 5 市町村との調整について

6 国土強靱化などについて

7 執行体制について

等について質問があり、知事から答弁。



真下 紀子 議員（共産） から、

- 1 生活支援について
- 2 ヒグマ対策について
 - ・補正予算の考え方について
 - ・春期管理捕獲について
 - ・市町村格差の解消について
- ・対策パッケージを活用した今後の取り組みについて

等について質問があり、知事から答弁。質疑を終結。

委員会付託を省略し、採決に入り、異議なく原案可決。

日程第3 議案第27号を議題とし、知事から追加提出議案に関する説明の後、委員会付託を省略。

採決に入り、いずれも異議なく同意議決。

日程第4 決議案第1号を議題とし、池端英昭議員（民主）から決議案第1号に関する説明の後、委員会付託を省略。採決に入り、起立採決の結果、起立少数により否決。

日程第5 決議案第2号を議題とし、佐藤伸弥議員（結志）から決議案第2号に関する説明の後、佐々木大介議員（自民）から質疑があり、委員会付託を省略。採決に入り、起立採決の結果、起立少数により否決。

日程第6 意見案第1号ないし第5号を議題とし、説明及び意見案第1号ないし第3号の委員会付託を省略。採決に入り、いずれも異議なく原案可決。

閉会申請願継続審査及び事務継続調査の件について、各常任委員長並びに議会運営委員長及び産炭地域振興・GX推進・エネルギー調査特別委員長から申出のとおり、閉会中の継続審査または調査に付することを決定。

今期定例会に付議された案件は、全て議了し、午後8時59分閉会。

提 出 案 件

知事から提出のあった案件

議 案

番号	件 名	提 出 年 月 日	付 託 委 員 会	議 決 年 月 日	議 決 状 況
1	令和7年度北海道一般会計補正予算（第4号）	7.11.26	予 算	7.12.12	原案可決
2	令和7年度北海道中小企業高度化資金貸付事業等特別会計補正予算（第1号）	7.11.26	予 算	7.12.12	原案可決
3	北海道職員等の旅費に関する条例及び北海道知事等の給与等に関する条例の一部を改正する条例案	7.11.26	総 務	7.12.12	原案可決
4	北海道税条例の一部を改正する条例案	7.11.26	総 務	7.12.12	原案可決
5	住民基本台帳法施行条例の一部を改正する条例案	7.11.26	総合政策	7.12.12	原案可決
6	北海道選挙管理委員会手数料条例の一部を改正する条例案	7.11.26	総合政策	7.12.12	原案可決
7	北海道環境生活部の事務処理の特例に関する条例の一部を改正する条例案	7.11.26	環境生活	7.12.12	原案可決
8	北海道控除対象特定非営利活動法人等を定める条例の一部を改正する条例案	7.11.26	環境生活	7.12.12	原案可決
9	北海道保健福祉部の事務処理の特例に関する条例の一部を改正する条例案	7.11.26	保健福祉	7.12.12	原案可決
10	児童福祉法の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例案	7.11.26	子ども政策調査	7.12.12	原案可決
11	北海道認定こども園の認定の要件並びに設備及び運営の基準を定める条例の一部を改正する条例案	7.11.26	子ども政策調査	7.12.12	原案可決
12	北海道児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例及び北海道一時保護施設の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案	7.11.26	子ども政策調査	7.12.12	原案可決
13	北海道農政部の事務処理の特例に関する条例の一部を改正する条例案	7.11.26	農 政	7.12.12	原案可決
14	北海道建設部手数料条例の一部を改正する条例案	7.11.26	建 設	7.12.12	原案可決
15	北海道道路占用料徴収条例の一部を改正する条例案	7.11.26	建 設	7.12.12	原案可決
16	北海道公営企業条例の一部を改正する条例案	7.11.26	経 済	7.12.12	原案可決
17	北海道学校職員等の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例案	7.11.26	文 教	7.12.12	原案可決
18	公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置条例の一部を改正する条例案	7.11.26	文 教	7.12.12	原案可決
19	北海道職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例案	7.11.26	予 算	7.12.12	原案可決
20	北海道学校職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案	7.11.26	予 算	7.12.12	原案可決
21	市町村立学校職員給与負担法に規定する学校職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案	7.11.26	予 算	7.12.12	原案可決
22	北海道地方警察職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案	7.11.26	予 算	7.12.12	原案可決
23	国営造成施設管理事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件	7.11.26	農 政	7.12.12	原案可決
24	宝くじの発売に関する件	7.11.26	予 算	7.12.12	原案可決
25	損害賠償の額の決定に関する件	7.11.26	保健福祉	7.12.12	原案可決
26	令和7年度北海道一般会計補正予算（第5号）	7.12.12	付託省略	7.12.12	原案可決
27	北海道収用委員会委員の選任につき同意を求める件	7.12.12	付託省略	7.12.12	同意議決

報 告

番号	件 名	提 出 日 年 月 日	付 託 会 委 員 会	議 決 日 年 月 日	議 決 状 況
1	令和7年度北海道地方競馬特別会計に係る弾力条項の適用報告の件	7. 11. 26	報告のみ	—	—
2	専決処分報告の件	7. 11. 26	報告のみ	—	—
3	専決処分報告の件	7. 11. 26	報告のみ	—	—
4	専決処分報告の件	7. 11. 26	報告のみ	—	—

前会から継続審査中の案件

議 案

番号	件 名	提 出 日 年 月 日	付 託 会 委 員 会	議 決 日 年 月 日	議 決 状 況
18	令和6年度北海道電気事業会計未処分利益剰余金の処分に関する件	7. 9. 9	決 算	7. 11. 26	原案可決

報 告

番号	件 名	提 出 日 年 月 日	付 託 会 委 員 会	議 決 日 年 月 日	議 決 状 況
1	令和6年度北海道一般会計及び特別会計歳入歳出決算に関する件	7. 9. 9	決 算	7. 11. 26	認定議決
2	令和6年度北海道公共下水道事業会計決算に関する件	7. 9. 9	決 算	7. 11. 26	認定議決
3	令和6年度北海道流域下水道事業会計決算に関する件	7. 9. 9	決 算	7. 11. 26	認定議決
4	令和6年度北海道電気事業会計決算に関する件	7. 9. 9	決 算	7. 11. 26	認定議決
5	令和6年度北海道工業用水道事業会計決算に関する件	7. 9. 9	決 算	7. 11. 26	認定議決
6	令和6年度北海道病院事業会計決算に関する件	7. 9. 9	決 算	7. 11. 26	認定議決

議員又は委員会から提出のあった案件

決 議 案

番号	件 名	提 出 者	提 出 日 年 月 日	議 決 日 年 月 日	議 決 状 況
1	北海道電力泊発電所3号機再稼働における拙速な同意の撤回と十分な審議時間の保障を求める決議	池端 英昭 議員ほか4人	7.12.12	7.12.12	否 決
2	北海道のエネルギー供給体制の確立と泊発電所3号機再稼働について慎重審議を求める決議	佐藤 伸弥 議員ほか4人	7.12.12	7.12.12	否 決

意 見 案

番号	件 名	提 出 者	提 出 日 年 月 日	議 決 日 年 月 日	議 決 状 況
1	教育課程の過密化の適正化を求める意見書	林 祐作 議員ほか5人	7.12.11	7.12.12	原案可決
2	巨大災害発生に対する対応体制整備を求める意見書	林 祐作 議員ほか5人	7.12.11	7.12.12	原案可決
3	危機的状況にある自治体病院の存続に向けた財政支援を求める意見書	林 祐作 議員ほか5人	7.12.11	7.12.12	原案可決
4	2027年度介護保険制度改正に向けた意見書	保健福祉委員長 中川 浩利	7.12.11	7.12.12	原案可決
5	私立専修学校等における専門職業人材の育成機能の強化等を求める意見書	文教委員長 太田 憲之	7.12.11	7.12.12	原案可決

決 議 案

決議案第 1 号

北海道電力泊発電所 3 号機再稼働における拙速な同意の撤回と 十分な審議時間の保障を求める決議

令和 7 年 12 月 12 日
池端 英昭 議員ほか 4 人 提出
令和 7 年 12 月 12 日 否決

鈴木知事は、北海道議会第 4 回定例会において、北海道電力泊発電所 3 号機の再稼働に同意を表明した。

本年 7 月に原子力規制委員会の審査に合格し、政府から再稼働に必要な地元同意が要請された 8 月以降、道は、11 月までに道内各地で説明会を開催したものの、参加者の合計は約 500 人、これは北海道の総人口の 0.01％にすぎない。これでは道民の声をあまねく聴取したとはとても言えない。その上、議事録の公開は知事の同意判断の当日である。16 市町村への意見照会にも公募意見にも道は回答しておらず、道民理解が得られたとは、全く言えない。

また、議会においても、連合審査会や第 4 回定例会において議論を行ってきたが、道民の「生命」と「財産」に深く関わる極めて重要な問題であるにもかかわらず、数日間と限られた時間内では、再稼働への不安や懸念を払拭するような答弁も得られず、到底、議論が尽くされたと言い難い中で、要請から同意まで僅か 4 か月で判断したことは、あまりにも拙速であり誠に遺憾である。

知事は、今回の同意は撤回し、道民の理解が進んだ段階で改めて判断すべきであり、それに向けて、道民への意思確認のための所要の措置を講ずるとともに、議会における審議時間を十分保障し、誠実かつ丁寧な説明を尽くすよう強く求めるものである。

以上、決議する。

令和 年 月 日

北 海 道 議 会

決議案第 2 号

北海道のエネルギー供給体制の確立と泊発電所 3 号機再稼働について 慎重審議を求める決議

令和 7 年 12 月 12 日
佐藤 伸弥 議員ほか 4 人 提出
令和 7 年 12 月 12 日 否決

知事は、泊 3 号機の再稼働に関し、道民の声、自治体の意見、さらには道議会での議論を踏まえたとして、予算特別委員会の総括質疑において、同意の判断を示した。

予算特別委員会での発言は、補正予算の審議の場における答弁にすぎず、本会議の場で、しっかりと道民に向けて意見表明すべきである。

道民が注視する重要課題に対する知事の判断について、本会議における知事報告もなく、予算特別委員会における総括質疑のみで議論を終えるとは、まさに議会軽視、道民軽視と言わざるを得ない。

再稼働については、原発の安全性の担保、複合災害時の避難計画に対する不安など、道民の不安が払拭されたとは言いがたい。

加えて、「省エネルギー・新エネルギー促進条例」には、「原子力発電は過渡的エネルギー」と位置づけ、「脱原発の視点に立って、道内で自立的に確保できる新エネルギーの利用を拡大する責務」を明記、また、「特定放射性廃棄物に関する条例」では、「核のゴミを持ち込ませないこと」を明記、さらに、ゼロカーボン北海道を目指す「温暖化防止条例」においても、再生可能エネルギーが中心であり、原発は位置づけされていない。

この 3 本の条例は、道議会において全会一致、道民総意で制定された条例であり、これらを道政運営の基本とした議論と検証が知事及び道議会に与えられた任務と責任である。

以上のことから、北海道の未来に責任を負う重要な課題について、僅か 4 か月の期間で拙速な結論を出すのではなく、将来に向かっての本道のエネルギー供給体制について、道民の理解を得られるようしっかりとした議論をするべきである。

以上、決議する。

令和 年 月 日

北海道議会

意見案

意見案第 1 号

教育課程の過密化の適正化を求める意見書

令和 7 年12月11日
林 祐作 議員ほか 5 人 提出
令和 7 年12月12日 原案可決

急激に変化する時代にあつて、2040年代を見据えた国家・地域社会の担い手を育成するため、学校教育の果たす役割はますます重要になっている。子どもたちが、自らの可能性を伸ばし、他者を尊重しつつ協働し、確かな学力と豊かな人間性を備えて未来を切り開いていくことができるよう、持続可能な教育体制を整えていく必要がある。

一方で、近年、不登校児童生徒数は全国で約35万人、いじめの認知件数は約74万件、小・中・高校生の自殺者数も年500名を超えるなど、学校現場を取り巻く課題は深刻さを増している。これらは、家庭環境や社会環境の変化など複合的な要因が背景にあるとの声もある。

また、小学校高学年では6時間授業が日常化し、在校時間が7時間を超えることも多い。また、小学校5年生算数の教科書ページ数はこの20年で約1.5倍となり、外国語やプログラミング教育の導入も相まって、授業の内容は量・質ともに高度化している。

こうした状況は、子どもたちが主体的に学び、学ぶ楽しさを感じるための余裕を確保しにくくしているとの声が現場から寄せられている。

今後の学習指導要領改訂に向けた議論においても、必要な学力の確保と教育の質の向上を図るとともに、教育課程の適正なバランスを確保する視点が重要である。

よって、国においては、次世代の教育基盤をより確かなものとするため、次の事項について適切に対応するよう要望する。

記

- 1 学習指導要領の内容を精選し、標準授業時数の在り方について必要な見直しを行うこと。
- 2 教育課程の適正化に向けた検討に当たり、子どもや学校現場の実情・意見を丁寧に反映すること。

以上、地方自治法第99条の規定により提出する。

令和 年 月 日

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
財務大臣
文部科学大臣

} 各通

北海道議会議長 伊 藤 条 一

意見案第 2 号

巨大災害発生に対する対応体制整備を求める意見書

令和 7 年12月11日
林 祐作 議員ほか 5 人 提出
令和 7 年12月12日 原案可決

近年、我が国では地震・台風・豪雨など自然災害が頻発しており、国民の生命・生活・経済活動に甚大な被害をもたらしている。特に、今後発生が懸念される日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震は、本道に極めて深刻な影響を及ぼすことが想定されている。

このような状況を踏まえ、政府は「防災庁」の設置を決定し、災害に強い国づくりを目指して体制整備を進めているが、自治体財政へのさらなる支援はもとより、実際の災害対応においては、地方自治体・地域住民・民間団体・ボランティア組織などとの連携強化が不可欠である。

よって、国においては、国民の命と暮らしを守るために、災害に強い国づくりの実現に向けて、次の事項について速やかに対応するよう強く要望する。

記

- 1 日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震の発生に備え、発災時における国の支援体制を一層強化し、被災地への人員・物資・情報支援が円滑かつ迅速に行われる仕組みを確立すること。
 - 2 各地方自治体と連携し、災害時の情報共有体制、避難計画、医療・福祉・インフラ維持などの分野での協働体制を平時から確実に整備・確認すること。
 - 3 新設される防災庁においては、中央政府と地方自治体、各種支援団体との緊密な連携を図り、災害対応の一元化・迅速化を実現するための機能を強化すること。
 - 4 国の防災施策や制度変更については、地方自治体に対して十分な説明責任を果たし、人的・財政的支援を適切に講ずること。
- 以上、地方自治法第99条の規定により提出する。

令和 年 月 日

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
総務大臣
国土交通大臣
内閣官房長官
復興大臣
内閣府特命担当大臣(防災)

各通

北海道議会議長 伊 藤 条 一

意見案第 3 号

危機的状況にある自治体病院の存続に向けた財政支援を求める意見書

令和 7 年12月11日
林 祐作 議員ほか 5 人 提出
令和 7 年12月12日 原案可決

自治体病院は、地域の民間医療機関では採算性の観点から担い難い救急、小児、周産期等の高度医療の実施、さらには感染症や災害対応など、地域の医療提供体制の維持に不可欠な役割を果たしている。

こうした自治体病院の責務を果たすため、多くの自治体は一般会計から多額の繰出金を負担しており、自治体病院は、現在の収支構造では行政の財政負担がなければ持続的な運営はできない。

しかし、公益社団法人全国自治体病院協議会の令和 7 年 8 月の調査結果にもあるとおり、近年の人件費や物価の高騰により、自治体病院の運営に要する費用が大きく膨らむ一方で、現行の診療報酬はこうした実情に十分対応できておらず、令和 6 年度決算では、自治体病院の約 9 割が自治体からの繰出金を入れてもなお、経常収支が赤字となるなど、自治体の財政力を超えて経営環境は大きく悪化している。

このままの状況が続けば、地域住民の生命や健康、さらには社会の安全・安心を支える公的基盤としての自治体病院の役割を果たしていくことはできず、今、まさに周辺市町村も含めた地域の医療提供体制は崩壊の危機に直面している。

よって、国においては、地域の医療体制を守る自治体病院の経営改善を図ることは、国の責任において取り組むべき重要な課題と捉え、次の事項について早急かつ具体的に対応するよう強く要望する。

記

- 1 診療報酬については、物価高騰や賃金等の上昇に適切に対応する仕組みを導入すること。
- 2 特に、令和 8 年度の診療報酬改定については、入院基本料の大幅な引上げを行うこと。
- 3 自治体病院の経営の現状を考慮し、当面の経営上の危機を回避するためにも、令和 8 年度の診療報酬改定を待つことなく、人件費や物価高騰など費用増に対応した、緊急的な財政支援を行うこと。

以上、地方自治法第99条の規定により提出する。

令和 年 月 日

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
総務大臣
財務大臣
厚生労働大臣

} 各通

北海道議会議長 伊 藤 条 一

意見案第 4 号

2027年度介護保険制度改正に向けた意見書

令和 7 年12月11日
保健福祉委員長 中川 浩利 提出
令和 7 年12月12日 原案可決

要介護者の尊厳を保持し、社会で支えることを目指す介護保険制度が導入され四半世紀が経過した。高齢化が加速し、2000年当時256万人の認定者の数が、2023年度には708万人と2.8倍となった。また、人口に占める65歳以上の高齢者割合は当時17.4%から現在は29.4%となり2040年には約35%まで上昇すると推計されている。一方で、2023年度の介護職員数は前年より2万8000人減少し212万6000人となっており、国の介護保険事業計画では、2040年度の介護職員の必要数は、約272万人と推計されている。

この間、介護に関わる職員の実質賃金は上昇せず大変厳しい状況にある。2024年度は訪問介護事業の報酬が引き下げられたことが大きな要因となり、介護事業者の倒産件数が前年度より36.6%増え179件と過去最多となった。介護職員の基礎報酬の引上げや職場の環境整備について早急に改善することが求められる。

現在、社会保障審議会では、2027年度介護保険制度改正に向けた議論が進められ、ケアマネジメント10割給付の見直しや、要介護1、2を「軽度者」と位置付け直し、生活援助サービス等を介護保険サービスから地域支援事業へ移行することが検討されている。しかし、これらは利用者負担の増加につながることから、支援が必要な人の利用控えを招くことになり、サービスを受けることなく心身の状態が悪化し、かえって介護費や医療費の増加につながりかねない事態となり、介護保険料を納めているにもかかわらず必要なサービスを利用できない矛盾した状況になることが懸念される。

よって、国においては、全ての高齢者が尊厳を保ち自立した生活を送るため、利用者にも事業者にも持続可能な制度となるよう、次の事項について2027年度介護保険制度改正の内容に反映することを強く要望する。

記

- 1 ケアマネジメント10割給付を維持すること。
 - 2 在宅介護を支える訪問介護、通所介護の給付を充実すること。
 - 3 利用者の原則1割負担を維持するとともに低所得者への対策を講ずること。
 - 4 訪問介護の基本報酬を引き上げること。
 - 5 人材不足が危惧されるケアマネジャーやホームヘルパーを増やすため、実効性のある施策づくりを講ずること。
 - 6 介護保険財源の確保に向け、現在25%となっている国の負担割合を引き上げること。
- 以上、地方自治法第99条の規定により提出する。

令和 年 月 日

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
財務大臣
厚生労働大臣

} 各通

北海道議会議長 伊藤 条 一

意見案第 5 号

私立専修学校等における専門職業人材の育成機能の強化等を求める意見書

（ 令和 7 年 12 月 11 日
文教委員長 太田 憲之 提出
令和 7 年 12 月 12 日 原案可決 ）

私立専修学校各種学校（以下、「私立専修学校等」という。）は、時代に伴い変化する産業や地域社会の要請に応え、職業に必要な知識・技術・技能について実践的な教育を行い、即戦力となる専門的な職業人の育成に努めながら、職業資格者を養成する地域の中核的な職業教育機関として、地域の産業・経済の発展や文化の振興等に貢献している。また、社会人のキャリアアップ等の学習機会の提供や国、本道が行うキャリア教育の補完等のもとより、厚生労働省の離職者対策事業、文部科学省の地域産業の発展を支える人材育成事業においても重要な役割を果たしている。

このような中、国はこれまで、企業等と密接に連携して実践的かつ専門的な職業教育に取り組む「職業実践専門課程」制度や専門職大学、専門職短期大学制度により、国際競争力の強化と産業構造の急速な転換に対応した職業教育を進めるとともに、令和 2 年度からは全ての子どもが希望する教育を受けられるべく、高等教育の修学支援制度を実現し、令和 4 年度においても都道府県の職業実践専門課程への補助に対する特別交付税措置が図られたが、少子高齢化や人口減少が進む本道においては地域産業の担い手となる専門職業人材のさらなる養成は喫緊の課題であり、関係府省が連携してなお一層取り組む必要がある。

また、令和 7 年度からは、私立高等専修学校における特別の支援を要する生徒や不登校の生徒の支援のために追加的に必要となる経費に対する都道府県補助について、新たに特別交付税措置が講じられるようになったが、こうした地域における「学びのセーフティネット」としての機能を安定的に維持するためには、財政支援をはじめとした各種施策を国の責任において進めていく必要がある。

よって、国においては、地域産業を担う専門的な職業人材を育成するための教育が以前より重要性を増していること、また、私立専修学校等が学校教育法第 1 条に規定されていないことから大学等と比較し、様々な格差が生じている現状等に鑑み、次の措置を講ずるよう強く要望する。

記

- 1 少子高齢化や人口減少に伴い、私立専修学校等を取り巻く環境はますます厳しさを増していることから、教育条件の維持向上と経営基盤安定のため、既存の大学等に準じた新たな財政支援措置を講ずること。
- 2 私立高等専修学校が安定的な教育活動を行えるよう、その運営に必要な経費に対して、国の責任において、補助制度の創設や特別交付税等の地方財政措置の充実など十分な財政支援措置を講ずること。
- 3 私立専修学校等の施設に対する恒久的な災害復旧補助制度を創設すること。

以上、地方自治法第 99 条の規定により提出する。

令和 年 月 日

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
総務大臣
財務大臣
文部科学大臣

各通

北海道議会議長 伊藤 条 一

請 願

各常任・特別委員会に付託されたもの

受 理 号	件 名	付 託 委 員 会	審 査 結 果
29	ゆたかな私学教育の実現を求める私学助成に関する件	文 教	継続審査
30	私立学校生徒の学費無償化を求める件	文 教	継続審査
31	私学の経常費及び授業料助成の増額に関する件	文 教	継続審査

委 員 会

議会運営委員会

■11月19日（水） 開議 午後1時3分
散会 午後1時6分
議会運営委員会室
委員長 千葉 英也（自民）

開議に先立ち、伊藤議長の欠席を報告。

- ① 会派の名称変更について
 - ・10月15日付をもって維新・大地を北海道維新の会に変更した旨の届出があったことを報告。
- ② 令和7年第4回定例会について
 - ・総務部長から招集日を11月26日とする旨発言があり、これを了承。
 - ・総務部長から、提出予定の主要案件について説明。
 - ・会期について、17日間とすることに決定。
 - ・日程について、次のとおり取り進めることに決定。

〔第4回定例会〕

11月26日	本会議（提案説明）
11月27日	休会
11月28日	本会議（一般質問）
12月1日	休会
12月2日～12月3日	本会議（一般質問）
12月4日～12月5日	休会
12月8日～12月11日	休会
12月12日	本会議

- ③ 決算特別委員会の審議状況について
 - ・前会より継続審査中の議案第18号、「令和6年度北海道電気事業会計未処分利益剰余金の処分に関する件」及び報告第1号ないし第6号、「令和6年度北海道各会計決算に関する件」は、11月13日の決算特別委員会において、議案は可決、報告はいずれも認定議決と決定し、審査を終了したことを報告。
 - ・本件については招集日の本会議において委員長報告を行い、議決することに決定。

■11月25日（火） 開議 午前9時15分
散会 午前9時18分
議会運営委員会室
委員長 千葉 英也（自民）

- ① 提出議案の事前説明について
 - ・総務部長から説明。
- ② 一般質問の通告書について
 - ・11月26日の正午までとする。
- ③ 予算特別委員会について
 - ・委員会構成及び正副委員長の配分は、協議事項に記載のとおりとする。
 - ・委員名簿の提出は、12月1日の正午までとする。
- ④ 議員派遣について
 - ・配付のとおり、議長において派遣決定内容の変更を行い、明日の本会議において、議長から報告することとする。
- ⑤ 休会について
 - ・議案等調査のため、11月27日は本会議を休会し、11月28日に再開することに決定。
- ⑥ 11月26日の本会議議事順序について
 - ・明日の委員会において協議することとする。

■11月26日（水） 開議 午前10時46分
散会 午前10時48分
議会運営委員会室
委員長 千葉 英也（自民）

- ① 本日の本会議議事順序について
 - ・事務局長説明のとおりとする。
- ② 本会議開議時刻について
 - ・準備でき次第開会とする。

■11月28日（金） 開議 午後0時15分
散会 午後0時17分
議会運営委員会室
委員長 千葉 英也（自民）

- ① 一般質問について
 - ・16名の通告があり、個人別の順位については、配付の通告一覧のとおりとする。

- ・本日は1番から2番までの2名、12月2日は3番から8番までの6名、12月3日は9番から16番までの8名の予定で取り進めることを決定。

② 休会について

- ・議案等調査のため、12月1日は本会議を休会し、12月2日に再開することとする。

③ 本日の本会議議事順序について

- ・事務局長説明のとおりとする。

④ 本会議開議時刻について

- ・午後1時開会とする。

(議場内議運)

(午後2時30分開議、午後2時51分散会)

① 議事進行発言について

- ・滝口直人議員の一般質問の指摘終了後の真下紀子議員の議事進行発言に対し、議場内で議運の正・副委員長、理事により協議を行った結果、知事から発言訂正の説明を行うこととし、議事を続行することに決定。

(議場内議運)

(午後5時42分開議、午後5時59分散会)

① 議事進行発言について

- ・中川浩利議員の一般質問の知事答弁後の中川浩利議員の議事進行発言に対し、議場内で議運の正・副委員長、理事により協議を行った結果、さらに発言の機会があることから、再々質問を行うこととし、議事を続行することに決定。

■12月2日(火) 開議 午前9時15分

散会 午前9時17分

議会運営委員会室

委員長 千葉 英也(自民)

① 本日の本会議について

- ・一般質問の通告内容等の変更について了承。
- ・本日の一般質問は3番から8番までの6名を行う。

② 本日の本会議議事順序について

- ・事務局長説明のとおりとする。

③ 本会議開議時刻について

- ・午前10時開会とする。

■12月3日(水) 開議 午前9時15分

散会 午前9時17分

議会運営委員会室

委員長 千葉 英也(自民)

① 一般質問について

- ・通告内容等の変更について了承。
- ・本日は9番から16番までの8名を行う。

② 予算特別委員会について

- ・本日、一般質問終了後、設置する。
- ・分科会の委員数は、配付の協議事項のとおり決定した旨報告。
- ・委員の選任については、配付の名簿のとおりとする。

③ 議案の各委員会付託について

- ・配付資料のとおり付託することに決定。

④ 休会について

- ・各委員会付託議案等審査のため、12月4日から5日まで及び8日から11日までは本会議を休会することとし、12月12日に再開することに決定。

⑤ 本日の本会議議事順序について

- ・事務局長説明のとおりとする。

⑥ 本会議開議時刻について

- ・午前10時開会とする。
- ・12月12日の本会議は、午後1時開会とする。

■12月12日(金) 開議 午後3時56分

散会 午後6時5分

議会運営委員会室

委員長 千葉 英也(自民)

① 本日の本会議について

- ・本会議の会議時間を延長することを決定。
- ・本会議は、準備でき次第開会とする。
(午後3時57分休憩、午後6時再開)

② 各委員会付託議案の審議状況について

- ・各委員会付託議案は、すべて議了したことを報告。

③ 追加提出議案の事前説明について

- ・総務部長から予算案件および人事案件の追加提出について説明。

- ・総務部長から説明のあった追加提出議案については、本日の本会議において、委員会付託を省略し、議決することに決定。
 - ・議案第26号に関し、3名の質疑の通告があったことを報告。
 - ・質疑の順位について、配付の通告一覧のとおりとすることに決定。
- ④ 決議案の取扱いについて
- ・配付のとおり、決議案第1号及び第2号の提出があり、本日の本会議において、議決することに決定。
 - ・決議案第2号に関し、1名の質疑の通告があったことを報告。
- ⑤ 意見案の取扱いについて
- ・配付のとおり、意見案第1号ないし第5号の提出があり、本日の本会議において議決することに決定。
- ⑥ 継続調査の申し出について
- ・配付の申出書のとおり、議長に閉会中継続調査を申し出ることに決定。
- ⑦ 本日の本会議議事順序について
- ・事務局長説明のとおりとする。
- ⑧ 令和8年第1回定例会の招集予定日について
- ・総務部長から、2月20日を予定している旨の発言があり、これを了承。
- ⑨ 議員研修会について
- ・配付の実施要領案のとおり、2月の一斉委員会開催日の2月3日に実施することに決定。
- ⑩ 本会議開議時刻について
- ・準備でき次第開会とする。

常 任 委 員 会

総 務 委 員 会

■11月5日（水） 開議 午後1時11分
散会 午後1時43分
第5委員会室
委員長 安住 太伸（自民）

議 事

1. 令和7年度恵山火山噴火総合防災訓練の実施に関する報告聴取の件〔危機対策局長報告〕
1. 弾道ミサイルを想定した住民避難訓練の実施結果に関する報告聴取の件
〔危機対策局長報告〕
1. 「令和7年職員の給与等に関する報告及び給与改定に関する勧告」に関する報告聴取の件
〔人事委員会事務局長報告〕

質 問

1. 田中 勝一 委員（民主）
～冷房設備の設置について
1. 赤根 広介 委員（結志）
～防災対策について

■11月25日（火） 開議 午前10時8分
散会 午前11時8分
第5委員会室
委員長 安住 太伸（自民）

議 事

1. 道外調査実施の件 〔決定〕
1. 令和7年第4回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件
〔総務部長、道警察本部総務部長説明〕
1. 令和7年度政策評価（総務部・警察本部所管分）の結果に関する報告聴取の件
〔総務部次長兼行政局長、
道警察本部警務部参事官兼警務課長報告〕
1. 「今後の行財政運営について【方向性】」に関する報告聴取の件
〔イノベーション推進局長、財政局長報告〕
1. 北海道ファシリティマネジメント推進方針（素案）に関する報告聴取の件
〔イノベーション推進局財産担当局長報告〕

1. 北海道雪害対策連絡部連携確認訓練の実施結果に関する報告聴取の件

〔危機対策局長報告〕

1. 令和7年度北海道原子力防災総合訓練の実施結果に関する報告聴取の件

〔危機対策局原子力安全対策担当局長報告〕

1. 泊発電所3号機に係る説明会開催結果概要に関する報告聴取の件

〔危機対策局原子力安全対策担当局長報告〕

質 疑

1. 田中 勝一 委員（民主）
～泊発電所3号機に係る説明会開催結果概要について
1. 赤根 広介 委員（結志）
～泊発電所3号機に係る説明会開催結果概要について

■12月11日（木） 開議 午前10時5分
散会 午後12時4分
第5委員会室
委員長 安住 太伸（自民）

議案審査の結果

議案第3号

北海道職員等の旅費に関する条例及び北海道知事等の給与等に関する条例の一部を改正する条例案
(原案可決)

議案第4号

北海道税条例の一部を改正する条例案
(原案可決)

議 事

1. 付託議案審査の件
1. 令和7年度恵山火山噴火総合防災訓練の実施結果に関する報告聴取の件
〔危機対策局長報告〕
1. 令和7年12月8日に発生した青森県東方沖地震による被害等に関する報告聴取の件
〔危機対策局長報告〕
1. 閉会中における所管事務継続調査申し出の件
〔決定〕

質 疑

1. 藤井 辰吉 委員（自民）
～令和7年12月8日に発生した青森県東方沖地震による被害等に関する報告聴取の件

質 問

1. 村田 憲俊 委員（自民）
～消防設備と火災防止について
～泊原発の安全対策について
1. 沖田 清志 委員（民主）
～原子力防災について
1. 赤根 広介 委員（結志）
～防災・減災対策について

総合政策委員会

- 11月5日（水） 開議 午後1時6分
散会 午後1時36分
第4委員会室
委員長 新沼 透（結志）

議 事

1. 「北海道過疎地域持続的発展方針（案）」等に関する報告聴取の件
[地域創生局地域づくり担当局長報告]

質 問

1. 広田 まゆみ 委員（民主）
～北海道地域振興条例改正後の取組などについて

- 11月25日（火） 開議 午前10時8分
散会 午前10時45分
第4委員会室
委員長 新沼 透（結志）

議 事

1. 道外調査実施の件 [決定]
1. 令和7年第4回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件
[総合政策部長兼地域振興監説明]
1. 令和7年度政策評価の結果に関する報告聴取の件 [計画局長報告]
1. 北海道政策評価条例の施行状況等の検討結果に関する報告聴取の件 [計画局長報告]
1. 新たな北海道グローバル戦略（素案）に関する報告聴取の件
[国際局国際企画担当局長報告]
1. 「北海道自転車条例に関する点検」及び「第3期北海道自転車利活用推進計画（素案）」に関する報告聴取の件

[地域創生局地域づくり担当局長報告]

質 問

1. 広田 まゆみ 委員（民主）
～北海道知的財産戦略推進計画について

- 12月11日（木） 開議 午前10時7分
散会 午前10時39分
第4委員会室
委員長 新沼 透（結志）

議案審査の結果

- 議案第5号
住民基本台帳法施行条例の一部を改正する条例案 (原案可決)
- 議案第6号
北海道選挙管理委員会手数料条例の一部を改正する条例案 (原案可決)

議 事

1. 付託議案審査の件
1. 閉会中における所管事務継続調査申し出の件 [決定]

質 問

1. 前田 一男 委員（自民）
～北海道のない日本列島図について
1. 広田 まゆみ 委員（民主）
～北海道インフラ長寿命化計画について

環境生活委員会

- 11月5日（水） 開議 午後1時8分
散会 午後2時10分
第12委員会室
委員長 田中 英樹（公明）

議 事

1. 第37回「星空の街・あおぞらの街」全国大会出席報告の件 [委員長報告]
1. 道外調査実施の件 [決定]
1. 北海道犯罪被害者等支援基本計画の改定骨子案に関する報告聴取の件
[くらし安全局長報告]

質 問

1. 木下 雅之 委員（自民）
～ヒグマ対策について
1. 川澄 宗之介 委員（民主）

～インクルーシブスポーツ振興について

1. 高橋 亨 委員（民主）

～熊の駆除について

■11月25日（火） 開議 午前10時7分
散会 午前10時30分
第12委員会室
委員長 田中 英樹（公明）

議 事

1. 令和7年第4回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件 [環境生活部長説明]
1. 令和7年度政策評価（環境生活部所管分）の結果に関する報告聴取の件 [環境生活部次長報告]
1. 北海道人権施策推進基本方針（第3次）の素案に関する報告聴取の件 [くらし安全局長報告]
1. 第五次北海道犯罪被害者等支援基本計画の素案に関する報告聴取の件 [くらし安全局長報告]
1. 北海道における縄文世界遺産に係る関連事業の全体計画（素案）に関する報告聴取の件 [文化局長報告]
1. 第2次北海道アイヌ政策推進方策（素案）に関する報告聴取の件 [アイヌ政策推進局長報告]

■12月11日（木） 開議 午前10時6分
散会 午前10時19分
第12委員会室
委員長 田中 英樹（公明）

議案審査の結果

議案第7号

北海道環境生活部の事務処理の特例に関する条例の一部を改正する条例案 （原案可決）

議案第8号

北海道控除対象特定非営利活動法人等を定める条例の一部を改正する条例案 （原案可決）

議 事

1. 付託議案審査の件
1. 閉会中における所管事務継続調査申し出の件 [決定]

質 問

1. 川澄 宗之介 委員（民主）
～続縄文文化・擦文文化・オホーツク文化等について

保健福祉委員会

■11月5日（水） 開議 午後1時4分
散会 午後1時35分
第6委員会室
委員長 中川 浩利（民主）

議 事

1. 介護保険制度の施行状況に関する報告聴取の件 [高齢者保健福祉課長報告]
1. 道立病院における令和7年度上半期の医療事故等の発生状況に関する報告聴取の件 [道立病院局次長報告]

質 問

1. 武市 尚子 委員（自民）
～診療所の承継・開業支援について
1. 武田 浩光 委員（民主）
～診療所承継・開業支援事業費補助金について

■11月25日（火） 開議 午前10時9分
散会 午前10時46分
第6委員会室
委員長 中川 浩利（民主）

開議前

1. 委員会運営方法の件 [了承]

議 事

1. 道外調査実施の件 [決定]
1. 令和7年第4回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件 [保健福祉部長、道立病院部長説明]
1. 令和7年度政策評価（保健福祉部・道立病院局所管分）の結果に関する報告聴取の件 [保健福祉部次長報告]
1. 食品衛生法施行条例の一部を改正する条例（素案）に関する報告聴取の件 [健康安全局長報告]
1. 第4期北海道医療費適正化計画一部改定（案）に関する報告聴取の件 [健康安全局国保担当局長報告]

1. 第3期ギャンブル等依存症対策推進計画（素案）に関する報告聴取の件
[障がい者保健福祉課精神医療担当課長報告]
1. 第3期アルコール健康障害対策推進計画（素案）に関する報告聴取の件
[障がい者保健福祉課精神医療担当課長報告]
1. 第2期北海道ケアラー支援推進計画（素案）に関する報告聴取の件
[高齢者保健福祉課長報告]
1. 北海道病院事業改革推進プラン（素案）に関する報告聴取の件 [道立病院局次長報告]

質 疑

1. 武市 尚子 委員（自民）
～第4期北海道医療費適正化計画一部改定（案）について

■12月11日（木） 開議 午前10時5分
散会 午前10時23分
第6委員会室
委員長 中川 浩利（民主）

議案審査の結果

議案第9号

北海道保健福祉部の事務処理の特例に関する条例の一部を改正する条例案 （原案可決）

議案第25号

損害賠償の額の決定に関する件 （原案可決）

請願審査の結果

請願第1号

新登別大橋への高欄設置についての件
(継続審査)

請願第15号

「物価上昇に見合う老齢基礎年金等の引上げを国に求める意見書」の提出を求める件
(継続審査)

議 事

1. 付託議案審査の件
1. 意見案発議の件 [決定]
1. 閉会中における請願継続審査申し出の件 [決定]
1. 閉会中における所管事務継続調査申し出の件 [決定]

質 問

1. 武田 浩光 委員（民主）
～医師等の確保について

経 済 委 員 会

■11月5日（水） 開議 午後1時4分
散会 午後1時56分
第7委員会室
委員長 池端 英昭（民主）

議 事

1. カスタマーハラスメント実態調査の結果概要（中間報告）に関する報告聴取の件
[労働政策局長報告]

質 疑

1. 小泉 真志 委員（民主）
～カスタマーハラスメント実態調査の結果概要（中間報告）について

質 問

1. 真下 紀子 委員（共産）
～労働基準法の遵守と労働環境の改善について

■11月25日（火） 開議 午前10時6分
散会 午前10時42分
第7委員会室
委員長 池端 英昭（民主）

議 事

1. 令和7年第4回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件 [経済部長、企業局長説明]
1. 令和7年度政策評価の結果（経済部所管分）に関する報告聴取の件 [経済企画局長報告]
1. 「企業経営者意識調査（令和7年10-12月期）における原油・原材料価格高騰の影響等調査の結果概要（中間とりまとめ）」に関する報告聴取の件 [経済企画局長報告]
1. 「第2期北海道Society5.0推進計画（素案）」に関する報告聴取の件
[AI・DX推進局長兼DX産業推進担当局長報告]
1. 「北海道半導体・デジタル関連産業振興ビジョン」の改訂に係る素案に関する報告聴取の件
[AI・DX推進局次世代半導体戦略室長報告]

質 問

1. 中野渡 志穂 委員（公明）
～日中関係の現状と課題、対策について

■12月11日（木） 開議 午前10時 5 分
散会 午前10時 8 分
第 7 委員会室
委員長 池端 英昭（民主）

議案審査の結果

議案第16号

北海道公営企業条例の一部を改正する条例案
（原案可決）

議 事

1. 付託議案審査の件
1. 道内調査実施の件 [決定]
1. 閉会中における所管事務継続調査申し出の件 [決定]

農 政 委 員 会

■11月 5 日（水） 開議 午後 1 時 7 分
散会 午後 1 時41分
第10委員会室
委員長 内田 尊之（自民）

議 事

1. 令和 8 年度国の施策及び予算に関する提案・要望の概要説明聴取の件 [農政部長説明]
1. 令和 8 年度国の施策及び予算に関する中央要請実施の件 [決定]
1. 令和 8 年度畜産物価格等に関する提案・要望の概要説明聴取の件 [農政部長説明]
1. 令和 8 年度畜産物価格等に関する中央要請実施の件 [決定]
1. 委員会協議会開催の件 [決定]
1. 道外調査実施の件 [決定]
1. 令和 6 年新規就農実態調査結果に関する報告聴取の件 [農業経営局長報告]
1. 第 7 期北海道農業・農村振興推進計画（素案）に関する報告聴取の件 [食料安全保障推進局長報告]
1. 第 9 次北海道酪農・肉用牛生産近代化計画（素案）及び第11次北海道家畜改良増殖計画（素案）に関する報告聴取の件 [生産振興局長報告]
1. 北海道家畜排せつ物利用促進計画（素案）に関する報告聴取の件 [生産振興局長報告]
1. 北海道果樹農業振興計画（素案）に関する報告聴取の件 [生産振興局長報告]

1. 北海道花き振興計画（素案）に関する報告聴取の件 [生産振興局長報告]

■11月25日（火） 開議 午前10時 7 分
散会 午前10時50分
第10委員会室
委員長 内田 尊之（自民）

議 事

1. 令和 8 年度国の施策及び予算並びに畜産物価格等に関する中央要請実施報告の件 [委員長報告]
1. 令和 7 年第 4 回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件 [農政部長説明]
1. 令和 7 年度補正予算を踏まえた農業施策に係る要請に関する報告聴取の件 [農政部長報告]
1. 令和 7 年度政策評価（農政部所管分）の結果に関する報告聴取の件 [食料安全保障推進局長報告]
1. 令和 7 年度ホッカイドウ競馬の開催結果に関する報告聴取の件 [農政部次長報告]
1. 協同農業普及事業の実施に関する方針（素案）に関する報告聴取の件 [生産振興局技術支援担当局長報告]
1. 北海道スマート農業推進方針（素案）に関する報告聴取の件 [生産振興局技術支援担当局長報告]
1. 北海道農業経営基盤強化促進基本方針（素案）に関する報告聴取の件 [農業経営局長報告]
1. 北海道農地中間管理事業の推進に関する基本方針（素案）に関する報告聴取の件 [農業経営局長報告]
1. 北海道農業振興地域整備基本方針（素案）に関する報告聴取の件 [農業経営局長報告]

質 問

1. 水間 健太 委員（自民）
～ワイン用ブドウの安定生産について

■12月11日（木） 開議 午前10時 5 分
散会 午前10時33分
第10委員会室
委員長 内田 尊之（自民）

議案審査の結果

議案第13号

北海道農政部の事務処理の特例に関する条例の一部を改正する条例案 (原案可決)

議案第23号

国営造成施設管理事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件 (原案可決)

議 事

1. 付託議案審査の件
1. 令和7年度国費補正予算の概要に関する報告聴取の件 [農政部長報告]
1. 閉会中における所管事務継続調査申し出の件 [決定]

質 問

1. 清水 敬弘 委員 (民主)
～意欲と希望が持てる「本道の担い手対策」について
1. 森 成之 委員 (公明)
～米政策について

水産林務委員会

■11月5日(水) 開議 午後1時6分
散会 午後1時53分
第8委員会室
委員長 浅野 貴博 (自民)

議 事

1. 「第48回全国育樹祭」参加報告の件 [委員長報告]
1. 「第74回全国漁港漁場大会」参加報告の件 [委員長報告]
1. 「第44回全国豊かな海づくり大会～美し国みえ大会～」参加の件 [決定]
1. 令和8年度国の施策及び予算に関する中央要請実施の件 [決定]
1. スルメイカTACに係る経過と対応状況に関する報告聴取の件 [水産局長報告]
1. 令和7年度ナラ枯れ被害に関する報告聴取の件 [林務局森林計画担当局長報告]

質 疑

1. 富原 亮 委員 (自民)
～スルメイカTACに係る経過と対応状況について

質 問

1. 佐藤 伸弥 委員 (結志)
～網走湖における青潮対応について
1. 山崎 真由美 委員 (維新)
～北森カレッジについて

■11月25日(火) 開議 午前10時7分
散会 午前10時27分
第8委員会室
委員長 浅野 貴博 (自民)

議 事

1. 「第44回全国豊かな海づくり大会～美し国みえ大会～」参加報告の件 [委員長報告]
1. 令和8年度国の施策及び予算に関する中央要請実施報告の件 [委員長報告]
1. 令和7年第4回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件 [水産林務部長説明]
1. 令和7年度政策評価(水産林務部所管分)の結果に関する報告聴取の件 [水産林務部次長報告]
1. 森林法の伐採届出及び林地開発許可に関する事務処理要領等の改正に関する報告聴取の件 [林務局長報告]
1. 新たな「道民の森」活用方針(素案)に関する報告聴取の件 [森林海洋環境局長報告]
1. 北海道森林吸収源対策推進計画(改定案)に関する報告聴取の件 [森林海洋環境局長報告]
1. ブルーカーボンに関する取組の推進方向(改定案)に関する報告聴取の件 [森林海洋環境局成長産業担当局長報告]

■12月11日(木) 開議 午前10時5分
散会 午前10時15分
第8委員会室
委員長 浅野 貴博 (自民)

議 事

1. 道外調査実施の件 [決定]
1. 閉会中における所管事務継続調査申し出の件 [決定]

質 問

1. 喜多 龍一 委員 (自民)
～漁業取締船に装備されているドローンの活用

について

～都市計画法等に係る違反事務取扱要領の改正
について

建設委員会

■11月5日（水） 開議 午後1時10分
散会 午後1時26分
第9委員会室
委員長 道見 泰憲（自民）

議 事

1. 令和8年度国の施策及び予算に関する中央要請実施の件 [決定]
1. 「公共工事の品質確保に関する北海道の取組方針」の見直しに関する報告聴取の件 [建設政策局建設業担当局長報告]
1. 道営住宅の余剰地の活用に関するサウンディング型市場調査の実施に関する報告聴取の件 [住宅局長報告]

質 疑

1. 鈴木 仁志 委員（民主）
～「公共工事の品質確保に関する北海道の取組方針」の見直しについて

■11月25日（火） 開議 午前10時6分
散会 午前10時39分
第9委員会室
委員長 道見 泰憲（自民）

議 事

1. 令和8年度国の施策及び予算に関する中央要請実施報告の件 [委員長報告]
1. 令和7年第4回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件 [建設部長説明]
1. 令和7年度政策評価（建設部所管分）の結果に関する報告聴取の件 [建設政策局建設企画担当局長報告]
1. 都市計画法等に係る違反事務取扱要領の改正に関する報告聴取の件 [住宅局長報告]
1. 北海道下水道事業経営戦略の改定（素案）に関する報告聴取の件 [建設部技監報告]

質 疑

1. 和田 敬太 委員（自民）
～都市計画法等に係る違反事務取扱要領の改正について
1. 水口 典一 委員（結志）

■12月11日（木） 開議 午前10時5分
散会 午前10時8分
第9委員会室
委員長 道見 泰憲（自民）

議案審査の結果

議案第14号

北海道建設部手数料条例の一部を改正する条例案 (原案可決)

議案第15号

北海道道路占用料徴収条例の一部を改正する条例案 (原案可決)

議 事

1. 付託議案審査の件
1. 閉会中における所管事務継続調査申し出の件 [決定]

文教委員会

■11月5日（水） 開議 午後1時5分
散会 午後1時44分
第11委員会室
委員長 太田 憲之（自民）

議 事

1. 令和7年度全国学力・学習状況調査北海道版結果報告書に関する報告聴取の件 [学校教育局長報告]
1. 「令和6年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」結果に関する報告聴取の件 [学校教育局生徒指導・学校安全担当局長、学事課長報告]

質 疑

1. 戸田 安彦 委員（自民）
～「令和6年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」結果について

質 問

1. 石川 さわ子 委員（結志）
～公立高校の不登校経験がある生徒の内申書について

■11月25日（火） 開議 午前10時 7 分
散会 午前10時46分
第11委員会室
委員長 太田 憲之（自民）

議 事

1. 令和 7 年第 4 回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件 [教育部長兼教育職員監説明]
1. 令和 7 年度政策評価の結果（教育委員会等所管分）に関する報告聴取の件
[総務政策局長、学事課長報告]
1. 北海道部活動の地域展開に関する推進計画（素案）に関する報告聴取の件
[学校教育局長報告]

質 疑

1. 鶴羽 芳代子 委員（自民）
～北海道部活動の地域展開に関する推進計画（素案）について

質 問

1. 平出 陽子 委員（民主）
～部活動の地域展開について

■12月11日（木） 開議 午前10時 5 分
散会 午前10時18分
第11委員会室
委員長 太田 憲之（自民）

議案審査の結果

議案第17号

北海道学校職員等の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例案 （原案可決）

議案第18号

公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置条例の一部を改正する条例案 （原案可決）

請願審査の結果

請願第22号

北海道の子どもたちにゆきとどいた教育を求める件 （継続審査）

請願第29号

ゆたかな私学教育の実現を求める私学助成に関する件 （継続審査）

請願第30号

私立学校生徒の学費無償化を求める件 （継続審査）

請願第31号

私学の経常費及び授業料助成の増額に関する件 （継続審査）

議 事

1. 付託議案審査の件
1. 意見案発議の件 [決定]
1. 道外調査実施の件 [決定]
1. 閉会中における請願継続審査申し出の件 [決定]
1. 閉会中における所管事務継続調査申し出の件 [決定]

質 問

1. 鶴羽 芳代子 委員（自民）
～学校におけるカスタマーハラスメント防止について

連 合 審 査 会

産炭地域振興・GX推進・エネルギー 調査特別委員会、総務委員会 連 合 審 査 会

■11月6日（木） 開議 午後1時16分
散会 午後1時19分
第1委員会室
委員長 船橋 賢二（自民）

議 事

1. 随時調査実施の件について [決定]
1. 参考人招致等の運営方法について [決定]

■11月20日（木） 開議 午前10時1分
散会 午後18時1分
第1委員会室
委員長 船橋 賢二（自民）

議 事

1. 随時調査実施報告の件 [委員長報告]
1. 泊発電所3号機の再稼働に関する件
[参考人 経済産業省大臣官房エネルギー・
地域政策統括調整官、原子力規制庁原子力規
制部安全規制管理官、原子力規制庁原子力規
制部実用炉審査部門安全管理調査官、内閣府
大臣官房審議官報告]

参考人質疑

【経済産業省資源エネルギー庁】

1. 船橋 賢二 委員長（自民）
～泊発電所3号機の再稼働について
1. 林 祐作 委員（自民）
～泊発電所3号機の再稼働について
1. 高橋 亨 委員（民主）
～泊発電所3号機の再稼働について
1. 赤根 広介 委員（結志）
～泊発電所3号機の再稼働について
1. 真下 紀子 委員外議員（共産）
～泊発電所3号機の再稼働について

【原子力規制庁】

1. 船橋 賢二 委員長（自民）
～泊発電所3号機の再稼働について
1. 藤井 辰吉 委員（自民）
～泊発電所3号機の再稼働について

1. 高橋 亨 委員（民主）
～泊発電所3号機の再稼働について
1. 赤根 広介 委員（結志）
～泊発電所3号機の再稼働について
1. 真下 紀子 委員外議員（共産）
～泊発電所3号機の再稼働について

【内閣府】

1. 船橋 賢二 委員長（自民）
～泊発電所3号機の再稼働について
1. 千葉 真裕 委員（自民）
～泊発電所3号機の再稼働について
1. 市橋 修治 委員（民主）
～泊発電所3号機の再稼働について
1. 赤根 広介 委員（結志）
～泊発電所3号機の再稼働について
1. 真下 紀子 委員外議員（共産）
～泊発電所3号機の再稼働について

■11月21日（金） 開議 午前10時
散会 午後17時50分
第1委員会室
委員長 船橋 賢二（自民）

議 事

1. 泊発電所3号機の再稼働に関する件
[参考人 北海道電力株式会社代表取締役副
社長執行役員、北海道電力株式会社取締役常
務執行役員、NPO法人原子力資料情報室事
務局長、泊村村長報告]

参考人質疑

【北海道電力株式会社】

1. 船橋 賢二 委員長（自民）
～泊発電所3号機の再稼働について
1. 角田 一 委員（自民）
～泊発電所3号機の再稼働について
1. 市橋 修治 委員（民主）
～泊発電所3号機の再稼働について
1. 赤根 広介 委員（結志）
～泊発電所3号機の再稼働について
1. 田中 英樹 委員（公明）
～泊発電所3号機の再稼働について
1. 真下 紀子 委員外議員（共産）
～泊発電所3号機の再稼働について

【NPO法人原子力資料情報室】

1. 武田 浩光 委員（民主）

～泊発電所3号機の再稼働について

1. 真下 紀子 委員外議員（共産）

～泊発電所3号機の再稼働について

【泊村】

1. 佐々木 大介 委員（自民）

～泊発電所3号機の再稼働について

質 疑

1. 滝口 直人 委員（自民）

～泊発電所3号機の再稼働について

1. 高橋 亨 委員（民主）

～泊発電所3号機の再稼働について

1. 赤根 広介 委員（結志）

～泊発電所3号機の再稼働について

1. 中村 守 委員（公明）

～泊発電所3号機の再稼働について

1. 真下 紀子 委員外議員（共産）

～泊発電所3号機の再稼働について

特 別 委 員 会

産炭地域振興・GX推進・ エネルギー調査特別委員会

■11月6日（木） 開議 午前10時8分
散会 午前10時44分
第2委員会室
委員長 船橋 賢二（自民）

議 事

1. 中央要請実施の件 [決定]
1. 石炭採掘後の坑内埋め戻し事業の実証等の取組状況に関する報告聴取の件
[資源エネルギー局長報告]

質 問

1. 高橋 亨 委員（民主）
～省エネ・新エネについて

■11月25日（火） 開議 午後1時5分
散会 午後1時40分
第7委員会室
委員長 船橋 賢二（自民）

議 事

1. 議席の変更の件 [決定]
1. 中央要請実施報告の件 [委員長報告]
1. ゼロカーボン北海道推進計画の改定（素案）に関する報告聴取の件
[ゼロカーボン推進局長報告]
1. 北海道省エネルギー・新エネルギー促進行動計画（第Ⅲ期）の中間年における点検に関する報告聴取の件
[GX推進局新エネルギー担当局長報告]
1. 地域未来投資促進法に基づく全道版基本計画「北海道GX地域未来投資促進基本計画」の変更に関する報告聴取の件
[GX推進局GX特区推進担当局長報告]
1. 北海道半導体・デジタル関連産業振興ビジョン（改訂版）素案に関する報告聴取の件
[AI・DX推進局次世代半導体戦略室長報告]
1. 泊発電所3号機に係る説明会開催結果概要に関する報告聴取の件
[資源エネルギー局長報告]

質 疑

1. 水口 典一 委員（結志）
～泊発電所3号機に係る説明会開催結果概要について

■12月11日（木） 開議 午後1時7分
散会 午後2時52分
第7委員会室
委員長 船橋 賢二（自民）

請願審査の結果

- 請願第2号
特定放射性廃棄物最終処分場選定に係る概要調査に反対する決議等を求める件（継続審査）
- 請願第3号
北海道における特定放射性廃棄物最終処分施設建設地選定に係る調査反対及び最終処分法を見直すよう国に求める件（継続審査）
- 請願第4号
北海道における特定放射性廃棄物最終処分施設建設地選定に係る調査反対及び最終処分法見直しを求める件（継続審査）
- 請願第5号
北海道における特定放射性廃棄物最終処分施設建設地選定に係る調査中止及び最終処分地の受入れをしないことを求める件（継続審査）
- 請願第6号
北海道のどこにも核のごみ（高レベル放射性廃棄物・特定放射性廃棄物）の最終処分場を設置しないよう国に求める意見書提出を求める件（継続審査）
- 請願第7号
地層処分・核燃料サイクル政策の見直しを国に求める決議についての件（継続審査）
- 請願第8号
寿都町・神恵内村で行われている特定放射性廃棄物の最終処分地選定に向けた文献調査から概要調査への移行に反対する決議を求める件（継続審査）
- 請願第9号
「東京電力福島第一原子力発電所で発生し、多核種除去システムにより処理された汚染水を海洋放出するとの政府方針の撤回、もしくは海洋放出の即時中止を政府に求める意見書」の提出を求める件（継続審査）

請願第10号

発電施設設置に関する北海道独自のガイドラインの作成及び条例制定を求める件（継続審査）

請願第11号

「福島第一原発のALPS処理水の海洋放出を直ちに中止し、処理水減容の抜本的対策を求める意見書」の提出を求める件（継続審査）

請願第23号

発電設備設置に関する北海道独自の施設撤去・廃棄費用前受金制度制定を求める件（継続審査）

請願第24号

北海道における特定放射性廃棄物最終処分施設建設地選定に係る調査及び施設受入れに関する北海道民の意志を問う住民投票実施を求める件（継続審査）

請願第25号

北海道電力泊原子力発電所の安全性審査に関する原子力規制委員会の新規制基準に適合するという審査結果案の了承を見直すよう国に進言を求める件（継続審査）

請願第26号

北海道電力泊原子力発電所3号機の再稼働についての件（継続審査）

請願第27号

北海道電力泊原子力発電所3号機の再稼働についての件（継続審査）

請願第28号

原子力防災計画の実効性が確認されるまで泊原子力発電所3号機の再稼働に反対することについての件（継続審査）

議 事

1. 道外調査実施の件 [決定]
1. 閉会中における請願継続審査申し出の件 [決定]

質 問

1. 村田 憲俊 委員（自民）
～エネルギー及びGX政策について
1. 市橋 修治 委員（民主）
～泊原発の再稼働と省エネ・新エネ促進条例について
1. 田中 英樹 委員（公明）
～釧路市における太陽光発電所について
1. 高橋 亨 委員（民主）
～エネルギー政策などについて

北方領土対策特別委員会

■11月6日（木） 開議 午前10時6分
散会 午前10時8分
第8委員会室
委員長 久保秋雄太（自民）

議 事

1. 北方領土返還要求運動滋賀県民会議との意見交換会への出席報告の件 [委員長報告]
1. 北方領土返還要求アピール行進への参加の件 [決定]

■11月25日（火） 開議 午後1時4分
散会 午後1時7分
第8委員会室
委員長 久保秋雄太（自民）

議 事

1. 第24回「北方領土の日」ポスターコンテストの実施結果に関する報告聴取の件 [北方領土対策本部北方領土対策局長報告]

■12月11日（木） 開議 午後1時4分
散会 午後1時14分
第8委員会室
委員長 久保秋雄太（自民）

議 事

1. 北方領土返還要求アピール行進への参加報告の件 [委員長報告]
1. 北方領土返還要求アピール行進等の実施結果に関する報告聴取の件 [北方領土対策本部北方領土対策局長報告]
1. 北方領土に関する総理要請の実施結果に関する報告聴取の件 [北方領土対策本部北方領土対策局長報告]
1. 令和7年度「北方領土中学生作文コンテスト」の実施結果に関する報告聴取の件 [北方領土対策本部北方領土対策局長報告]

新幹線・総合交通体系 対策特別委員会

■11月6日（木） 開議 午前10時8分
散会 午前10時42分
第9委員会室
委員長 大越 農子（自民）

議 事

1. 道内調査実施の件 [決定]
1. 国際航空路線の状況に関する報告聴取の件
[航空港湾局長報告]
1. 現在休止している礼文空港への対応に関する
報告聴取の件
[航空港湾局施設管理担当局長報告]
1. 中標津空港、女満別空港における「特定利用
空港」への対応に関する報告聴取の件
[航空港湾局施設管理担当局長報告]

質 疑

1. 赤根 広介 委員（結志）
～国際航空路線の状況について

質 問

1. 森 成之 委員（公明）
～北海道新幹線の札幌延伸について

■11月25日（火） 開議 午後1時3分
散会 午後1時37分
第9委員会室
委員長 大越 農子（自民）

議 事

1. 令和7年第4回定例会提出予定案件の事前説
明聴取の件 [総合政策部交通企画監説明]
1. 北海道運輸交通審議会小委員会の開催結果に
関する報告聴取の件
[総合政策部次長兼交通政策局長報告]

質 議

1. 滝口 直人 委員（自民）
～北海道運輸交通審議会小委員会の開催結果に
ついて
1. 赤根 広介 委員（結志）
～北海道運輸交通審議会小委員会の開催結果に
ついて

人口減少問題・地方分権 改革等調査特別委員会

■11月6日（木） 開議 午前10時4分
散会 午前10時10分
第4委員会室
委員長 白川 祥二（結志）

議 事

1. 「北海道の人口減少などに関する意識調査」
結果の概要に関する報告聴取の件
[地域創生局長報告]

■11月25日（火） 開議 午後1時4分
散会 午後1時12分
第4委員会室
委員長 白川 祥二（結志）

議 事

1. 第3期北海道創生総合戦略改訂版素案に関す
る報告聴取の件 [地域創生局長報告]
1. 道州制特別区域計画の変更（期間延長）に関
する報告聴取の件 [地域創生局長報告]

■12月11日（木） 開議 午後1時4分
散会 午後1時10分
第4委員会室
委員長 白川 祥二（結志）

議 事

1. 国家戦略特区の取組状況に関する報告聴取の
件 [地域創生局長報告]

子ども政策調査特別委員会

■11月6日（木） 開議 午前10時5分
散会 午前10時35分
第6委員会室
委員長 菅原 和忠（民主）

議 事

1. 「こどもの虐待防止推進全国フォーラムwith
ほっかいどう」出席報告の件 [委員長報告]
1. 道内調査実施の件 [決定]

質 問

1. 木葉 淳 委員（民主）
～こども誰でも通園制度について
1. 真下 紀子 委員（共産）
～出産・育児への支援等について

■11月25日（火） 開議 午後1時5分
散会 午後1時15分
第6委員会室
委員長 菅原 和忠（民主）

開議前

1. 委員会運営方法の件 [了承]

議 事

1. 令和7年第4回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件
[保健福祉部子ども応援社会推進監説明]
1. 令和7年度政策評価（保健福祉部所管分）の結果に関する報告聴取の件
[保健福祉部次長報告]
1. 第2期北海道ケアラー支援推進計画（素案）に関する報告聴取の件
[子ども政策局子育て支援担当局長報告]

■12月11日（木） 開議 午後1時5分
散会 午後1時17分
第6委員会室
委員長 菅原 和忠（民主）

議案審査の結果

議案第10号

児童福祉法の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例案（原案可決）

議案第11号

北海道認定こども園の認定の要件並びに設備及び運営の基準を定める条例の一部を改正する条例案（原案可決）

議案第12号

北海道児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例及び北海道一時保護施設の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案（原案可決）

議 事

1. 付託議案審査の件

質 疑

1. 真下 紀子 委員（共産）
～付託議案審査について

食と観光調査特別委員会

■11月6日（木） 開議 午前10時11分
散会 午前10時54分
第5委員会室
委員長 畠山みのり（民主）

議 事

1. 高病原性鳥インフルエンザへの対応に関する報告聴取の件
[食の安全・みどりの農業推進局長報告]
1. 第2次北海道食品ロス削減推進計画（素案）に関する報告聴取の件
[食の安全・みどりの農業推進局長報告]

質 疑

1. 山根 まさひろ 委員（民主）
～第2次北海道食品ロス削減推進計画（素案）について
1. 荒当 聖吾 委員（公明）
～第2次北海道食品ロス削減推進計画（素案）について

質 問

1. 荒当 聖吾 委員（公明）
～映画などの映像を活用した観光振興について

■11月25日（火） 開議 午後1時6分
散会 午後1時54分
第5委員会室
委員長 畠山みのり（民主）

議 事

1. 北海道観光のくにつくり行動計画（素案）に関する報告聴取の件 [観光局長報告]
1. [改訂]「統合型リゾート（IR）に関する基本的な考え方」の骨子に関する報告聴取の件 [観光局長報告]
1. 北海道アウトドア活動・アドベンチャートラベル振興推進計画（素案）に関する報告聴取の件 [観光局誘客担当局長報告]

1. 宿泊税充当施策の基本的な考え方（案）に関する報告聴取の件

〔観光局観光事業担当局長報告〕

1. 食の安全・安心に係る通報等の状況に関する報告聴取の件

〔くらし安全局長報告〕

1. 飼養衛生管理指導等計画の一部改正に関する報告聴取の件

〔食の安全・みどりの農業推進局長報告〕

質 疑

1. 山根 まさひろ 委員（民主）

～北海道観光のくにつくり行動計画（素案）について

質 問

1. 早坂 貴敏 委員（自民）

～高病原性鳥インフルエンザ対策について

■12月11日（木） 開議 午後1時5分

散会 午後1時20分

第5委員会室

委員長 畠山みのり（民主）

議 事

1. 道外調査実施の件

〔決定〕

1. 「令和7年度第1四半期観光入込客数調査」の概要に関する報告聴取の件

〔観光局長報告〕

質 問

1. 荒当 聖吾 委員（公明）

～そらち温泉マップについて

予算特別委員会

■12月3日(水) 開会 午後5時48分
散会 午後5時56分
第1委員会室
委員長 久保秋雄太(自民)

- ① 委員長に久保秋雄太委員(自民)、副委員長に笹田浩委員(民主)を選出。
- ② 付託議案に対する審査方法について、2分科会を設置、質疑を行うこととし、第1分科会は委員13人、所管は総務部、総合政策部、環境生活部、保健福祉部、出納局、企業局、道立病院局、選挙管理委員会、人事委員会、公安委員会及び監査委員、第2分科会は委員13人、所管は経済部、農政部、水産林務部、建設部、教育委員会、労働委員会、収用委員会、海区漁業調整委員会、連合海区漁業調整委員会及び内水面漁場管理委員会とすることに決定。
各分科会に付託する議案は、別紙付託議案一覧のとおりとすることに決定。
各分科会において保留となった事項については、本委員会において総括質疑を行うことに決定。
- ③ 分科委員の選任について、各分科会の委員は、別紙分科委員名簿のとおりとすることに決定。

○第1分科会(委員13人)

清水 敬弘(民主)	角田 一(自民)
藤井 辰吉(自民)	前田 一男(自民)
木葉 淳(民主)	鈴木 一磨(民主)
佐々木大介(自民)	渡邊 靖司(自民)
内田 尊之(自民)	笹田 浩(民主)
新沼 透(結志)	阿知良寛美(公明)
藤沢 澄雄(自民)	

○第2分科会(委員13人)

木下 雅之(自民)	小林 雄志(自民)
千葉 真裕(自民)	鈴木 仁志(民主)
海野 真樹(公明)	丸山はるみ(共産)
小泉 真志(民主)	檜垣 尚子(自民)
桐木 茂雄(自民)	中野 秀敏(自民)
畠山みのり(民主)	白川 祥二(結志)
中司 哲雄(自民)	

- ④ 分科委員長及び分科副委員長について、各分科会は、分科委員長及び分科副委員長各1人を選任することに決定。

- ⑤ 審査日程について、別紙日程表により行うことに決定。なお、各分科会の1日の質疑・質問時間は2時間45分を基本とし、また、午前、午後の別があるときは、午前1時間、午後1時間45分を基本とすることに決定。
- ⑥ 質疑・質問の方法等について、通告の形式により行うこと、発言の順位は本会議における一般質問に準じることに決定。
- ⑦ 議席について、別紙議席表のとおりとすることに決定。
- ⑧ 理事会の設置について、本委員会の運営に当たって、正・副委員長、各分科会の正・副委員長及び分科会正・副委員長の配分のない会派から1人の理事をもって構成する理事会を設置し、その協議により運営することに決定。なお、諸派についても理事会に出席願うこととし、委員長の許可を得て発言することができるものとすることに決定。
理事に、渡邊靖司委員(自民)、桐木茂雄委員(自民)、小泉真志委員(民主)、木葉淳委員(民主)、白川祥二委員(結志)、海野真樹委員(公明)を選出。
- ⑨ 委員の異動等について、申出は原則、当日の理事会開催前までに提出することとし、委員の交代は議長の辞任許可及び補充指名を受けること、分科委員の所属変更は、委員長の承認を受けることに決定。
- ⑩ 委員外議員の発言の取扱いについて、発言の申し出があった場合には、委員会に諮り決定することとし、発言を許可する場合は、委員の質疑・質問終了後の発言とすることに決定。

第1分科会

■12月3日(水) 開会 午後5時58分
散会 午後6時8分
第1委員会室
第1分科委員長
渡邊 靖司(自民)

- ① 分科委員長に渡邊靖司委員(自民)、分科副委員長に木葉淳委員(民主)を選出。
- ② 付託議案、審査日程、質疑・質問の方法等、

理事会の設置、分科委員の異動等、分科委員外委員及び委員外議員の発言の取扱い、議席、次回委員会の開催予定について決定。

- ③ 理事に、角田一委員（自民）、清水敬弘委員（民主）、新沼透委員（結志）、阿知良寛美委員（公明）を選出。

■12月5日（金） 開議 午前10時
散会 午後5時35分
第2委員会室
第1分科委員長
渡邊 靖司（自民）

- ① 公安委員会所管に対する質疑に入り、
内田 尊之 委員（自民）から、

- 1 交番・駐在所の老朽化対策について

等について

木葉 淳 委員（民主）から、

- 1 警察官の成り手不足対策及び労働環境改善について

等について質疑、意見及び要望があり、総務部長他から答弁があって、公安委員会所管に関する質疑を終結。

- ② 道立病院局所管に対する質疑に入り、
角田 一 委員（自民）から、

- 1 北海道病院事業改革推進プランについて

等について質疑、意見及び要望があり、病院事業管理者他から答弁があって、道立病院局所管に関する質疑を終結。

- ③ 保健福祉部所管に対する質疑に入り、
藤井 辰吉 委員（自民）から、

- 1 感染症対策について

- 2 依存症対策について

- 3 福祉施策について

- 4 子ども施策について

- 5 ケアラー支援について

- 6 地域医療の確保について

等について

木葉 淳 委員（民主）から、

- 1 吃音について

- 2 北海道精神保健福祉審議会の委員選任について

- 3 地域医療について

等について

角田 一 委員（自民）から、

- 1 障がい福祉施策について

等について

鈴木 一磨 委員（民主）から、

- 1 訪問介護事業等への支援について

等について

佐々木 大介 委員（自民）から、

- 1 プレコンセプションケアについて

- 2 HACCPの五つ星事業の普及促進について

等について

新沼 透 委員（結志）から、

- 1 介護保険制度について

等について

前田 一男 委員（自民）から、

- 1 困難な問題を抱える女性への支援等について

- 2 今後の戦没者慰霊の在り方について

等について

山崎 真由美 議員（維新）から、

- 1 向陽学院について

等について質疑、意見及び要望があり、保健福祉部長他から答弁があって、総括質疑に保留された事項を除き、保健福祉部所管に関する質疑を終結。

- ④ 環境生活部所管に対する質疑に入り、
前田 一男 委員（自民）から、

- 1 野生鳥獣対策について

- 2 縄文世界遺産に係る拠点形成について

等について

清水 敬弘 委員（民主）から、

- 1 野生鳥獣対策について

- 2 バックカントリースキーについて

等について質疑、意見及び要望があり、環境生活部長他から答弁があって、議事進行の都合により散会。

■12月8日（月） 開議 午後1時
散会 午後5時41分
第2委員会室
第1分科委員長
渡邊 靖司（自民）

- ① 環境生活部所管に対する質疑を継続し、
角田 一 委員（自民）から、

- 1 北海道みんなの日について

- 2 Jリーグのサッカーキャンプについて

- 3 北海道犯罪被害者等支援基本計画について
- 4 外来種対策について
- 5 野幌森林公園エリア活性化について等について

木葉 淳 委員（民主） から、

- 1 P F A S 対策について

等について

藤沢 澄雄 委員（自民） から、

- 1 北海道人権施策推進基本方針（素案）について

等について

新沼 透 委員（結志） から、

- 1 メガソーラーについて
- 2 ヒグマ対策について
- 3 オホーツク流水科学センターについて

等について

阿知良 寛美 委員（公明） から、

- 1 ヒグマ対策について
- 2 安全・安心な地域づくりについて

等について

鈴木 一磨 委員（民主） から、

- 1 自然環境の保護等について

等について質疑、意見及び要望があり、環境生活部長他から答弁があつて、総括質疑に保留された事項を除き、環境生活部所管に関する質疑を終結。

② 総合政策部所管に対する質疑に入り、

藤井 辰吉 委員（自民） から、

- 1 地方創生について
- 2 日本郵便との連携協定について

等について

鈴木 一磨 委員（民主） から、

- 1 知事の議会会派への対応について

等について

角田 一 委員（自民） から、

- 1 交通政策について

等について

笹田 浩 委員（民主） から、

- 1 道総研への運営費交付金について
- 2 人口減少下のまちづくりについて

等について質疑、意見及び要望があり、総合政策部長兼地域振興監他から答弁があつて、議事進行の都合により散会。

■12月9日（火） 開議 午前10時
閉会 午後4時14分
第2委員会室
第1分科委員長
渡邊 靖司（自民）

① 総合政策部所管に対する質疑を継続し、

新沼 透 委員（結志） から、

- 1 北海道の広報広聴について
- 2 知事の地域訪問について
- 3 水資源保全条例について

等について

阿知良 寛美 委員（公明） から、

- 1 交通政策について
- 2 丘珠空港滑走路延伸問題について
- 3 外国人材の活用について

等について質疑、意見及び要望があり、総合政策部長兼地域振興監他から答弁があつて、総括質疑に保留された事項を除き、総合政策部所管に関する質疑を終結。

② 総務部所管に対する質疑に入り、

内田 尊之 委員（自民） から、

- 1 泊発電所について
- 2 庁舎のセキュリティ確保について
- 3 赤れんが庁舎の魅力向上について

等について

清水 敬弘 委員（民主） から、

- 1 泊原発の安全対策などについて

等について

佐々木 大介 委員（自民） から、

- 1 道の人事施策について
- 2 行政運営について
- 3 財政運営について

等について

新沼 透 委員（結志） から、

- 1 泊発電所3号機の再稼働について

等について

阿知良 寛美 委員（公明） から、

- 1 消防・防災対策について
- 2 泊原発について

等について質疑、意見及び要望があり、総務部長兼北方領土対策本部長他から答弁があつて、総括質疑に保留された事項を除き、総務部所管に関する質疑を終結。

第 2 分 科 会

■12月3日（水） 開会 午後5時58分
散会 午後6時6分
第3委員会室
第2分科委員長
桐木 茂雄（自民）

- ① 分科委員長に桐木茂雄委員（自民）、分科副委員長に小泉真志委員（民主）を選出。
- ② 付託議案、審査日程、質疑・質問の方法等、理事会の設置、分科委員の異動等、分科委員外委員及び委員外議員の発言の取扱い、議席、次回委員会の開催予定について決定。
- ③ 理事に、木下雅之委員（自民）、鈴木仁志委員（民主）、白川祥二委員（結志）、海野真樹委員（公明）を選出。

■12月5日（金） 開議 午前10時
散会 午後5時41分
第3委員会室
第2分科委員長
桐木 茂雄（自民）

- ① 建設部所管に対する質疑に入り、
木下 雅之 委員（自民） から、
 - 1 北海道下水道事業経営戦略について
 - 2 ヒグマ対策としての河川管理者の対応について
 - 3 道道の除排雪について等について
小泉 真志 委員（民主） から、
 - 1 雌阿寒岳の避難道路について
 - 2 道路の維持管理等について等について
白川 祥二 委員（結志） から、
 - 1 建設産業における担い手確保・育成について等について
丸山 はるみ 委員（共産） から、
 - 1 空き家対策について等について質疑、意見及び要望があり、建設部長他から答弁があつて、建設部所管に関する質疑を終結。

- ② 水産林務部所管に対する質疑に入り、
小林 雄志 委員（自民） から、
 - 1 木育の推進について
 - 2 ブルーカーボンに関する取組の推進方向について
 - 3 水上の安全確保について
 - 4 小型するめいか釣り漁業の資源調査について
 - 5 アキサケの資源対策について等について
鈴木 仁志 委員（民主） から、
 - 1 所有者不明林について
 - 2 林業用種苗の状況について
 - 3 大雨による森林被害と流木の流失について
 - 4 林道橋梁の整備について等について
檜垣 尚子 委員（自民） から、
 - 1 マフグの消費拡大について等について
白川 祥二 委員（結志） から、
 - 1 アキサケの資源対策について等について
中村 守 委員（公明） から、
 - 1 ナラ枯れについて
 - 2 ブルーカーボンに関する取組の推進方向について
 - 3 小型するめいか釣り漁業の資源管理について
 - 4 アキサケの資源回復について等について
丸山 はるみ 委員（共産） から、
 - 1 林地開発等について
 - 2 ナラ枯れ対策等について
 - 3 アキサケ資源について等について質疑、意見及び要望があり、水産林務部長他から答弁があつて、総括質疑に保留された事項を除き、水産林務部所管に関する質疑を終結。
- ③ 農政部所管に対する質疑に入り、
木下 雅之 委員（自民） から、
 - 1 ホッカイドウ競馬について
 - 2 畑作農業の振興について
 - 3 本道酪農の振興について
 - 4 北海道和牛の生産振興について
 - 5 農業の担い手の育成・確保について
 - 6 鳥獣被害対策について
 - 7 農業農村整備の推進について

等について

鈴木 仁志 委員（民主） から、

- 1 畜産バイオマスプラントについて
- 2 家畜排せつ物の適正な処理について
- 3 家畜伝染病と病害虫の状況について
- 4 貝殻土壌改良資材の活用について
- 5 農業大学校について

等について

白川 祥二 委員（結志） から、

- 1 北海道農業・農村振興推進計画について
- 2 北海道酪農・肉用牛生産近代化計画の策定について

等について質疑、意見及び要望があり、農政部長他から答弁があつて、農政部所管に関する質疑を終結。

■12月8日（月） 開議 午後1時
散会 午後6時38分
第3委員会室
第2分科委員長
桐木 茂雄（自民）

① **経済部所管に対する質疑**に入り、

檜垣 尚子 委員（自民） から、

- 1 泊発電所について
- 2 物価高対策について
- 3 休み方改革について

等について

畠山 みのり 委員（民主） から、

- 1 物価高騰対策について
- 2 エネルギー政策等について

等について

千葉 真裕 委員（自民） から、

- 1 G X戦略地域制度について
- 2 北海道半導体・デジタル関連産業振興ビジョンについて
- 3 宿泊税について
- 4 北海道観光のくにづくり行動計画について

等について

白川 祥二 委員（結志） から、

- 1 国の総合経済対策について
- 2 宿泊税について
- 3 I Rについて
- 4 泊発電所3号機の再稼働について
- 5 高レベル放射性廃棄物の最終処分地選定につ

いて

6 **メガソーラー**について

等について

中村 守 委員（公明） から、

- 1 景気・経済対策について
- 2 観光問題について
- 3 泊原発再稼働を見据えたエネルギー政策について
- 4 苫東開発について
- 5 洋上風力の人材育成について

等について

丸山 はるみ 委員（共産） から、

- 1 原発・エネルギー政策等について

等について質疑、意見及び要望があり、経済部長他から答弁があつて、総括質疑に保留された事項を除き、経済部所管に関する質疑を終結。

■12月9日（火） 開議 午前10時
閉会 午後4時16分
第3委員会室
第2分科委員長
桐木 茂雄（自民）

① **教育委員会所管に対する質疑**に入り、

千葉 真裕 委員（自民） から、

- 1 学力向上の取組について
- 2 地学協働まちづくり推進事業について
- 3 部活動の地域展開について
- 4 改正給特法等を踏まえた対応について

等について

小泉 真志 委員（民主） から、

- 1 学校におけるカスタマーハラスメント防止について
- 2 給特法等改正に伴う見直しについて
- 3 教職員の超勤・多忙化解消について

等について

檜垣 尚子 委員（自民） から、

- 1 教職員人事について
- 2 ヒグマ出没時の学校の安全対策について
- 3 高校教育の充実について
- 4 日本語指導が必要な児童生徒への教育について
- 5 休み方改革について

等について

白川 祥二 委員（結志） から、

- 1 道立青少年教育施設について
- 2 空調設備整備について
- 3 免許外教科担任について
- 4 中学生のスポーツを取り巻く環境について

等について
中司 哲雄 委員（自民） から、
1 働き方改革について
等について

中村 守 委員（公明） から、
1 道立高校におけるエアコン整備について
2 道立高校における修学旅行の引率旅費について
3 スクールカウンセラーについて
4 キャリア教育について
等について

丸山 はるみ 委員（共産） から、
1 自殺対策等について
2 教員の働き方改革等について
等について

山崎 真由美 議員（維新） から、
1 道立高校における 1 人 1 台端末の活用について
等について質疑、意見及び要望があり、教育長他から答弁があ
って、教育委員会所管に関する質疑を終結。

予 算 特 別 委 員 会

■12月10日（水） 開議 午前10時 2 分
閉会 午後 5 時14分
第 1 委員会室
委員長 久保秋雄太（自民）

① 各分科委員長から、それぞれ分科会における
審査の経過について報告。

② 各分科会において保留された事項について、
知事に対する総括質疑に入り、

内田 尊之 委員（自民） から、
1 泊発電所について
2 物価高対策について
3 野生鳥獣対策について
等について

畠山 みのり 委員（民主） から、

- 1 物価高騰対策について
- 2 訪問介護事業等への支援について
- 3 野生鳥獣対策について
- 4 自然環境の保護等について
- 5 エネルギー政策等について

等について
白川 祥二 委員（結志） から、
1 泊発電所 3 号機の再稼働について
等について

阿知良 寛美 委員（公明） から、
1 景気・経済対策について
2 観光問題について
3 消防・防災対策について
4 泊原発について
等について

丸山 はるみ 委員（共産） から、
1 原発・エネルギー政策等について
等について質疑、意見及び要望があり、知事から答弁があつて、
総括質疑を終結。

③ 付託議案に対する意見調整は、理事会で行う
ことに決定。

④ 理事会において付託議案に対する意見調整の
結果、議案第20号は意見の一致をみるに至らな
かった旨の報告の後、議案第20号を問題とし、
採決に入り、起立採決の結果、起立多数をもつ
て原案のとおり可決することに決定。

次に、議案第 1 号、第 2 号、第19号、第21号、
第22号及び第24号を問題とし、原案のとおり可
決することを諮り、いずれも異議なく決定。

⑤ 清水敬弘委員（民主）から、附帯意見を委員
長報告に挿入されたい旨の動議があり、これを
諮って動議成立。採決に入り、起立採決の結果、
起立少数により動議を否決。

⑥ 付託議案に対する委員長報告文については、
委員長に一任することに決定。

⑦ 委員長から、付託議案に対する審議終了の挨拶があつて閉会。

附 帯 意 見

1. 複合災害時における避難道路や放射線防護施
設等の整備について、早期実施の確約と整備ス
ケジュールの策定を、国に対して求めるべきで
ある。また、履行されない場合においては、泊
発電所 3 号機再稼働に係る同意については撤回
すべきである。

決算特別委員会

■ 9月24日（水） 開会 午後5時33分
散会 午後5時41分
第1委員会室
委員長 船橋 賢二（自民）

- ① 委員長に船橋賢二委員（自民）、副委員長に高橋亨委員（民主）を選出。
- ② 付託議案に対する審査方法について、企業会計決算審査については、本委員会では審査を行うこと、普通会計決算審査については、2分科会を設置、質疑を行うこととし、第1分科会は委員13人、所管は総務部、総合政策部、環境生活部、保健福祉部、人事委員会、公安委員会、出納局及び監査委員、第2分科会は委員13人、所管は経済部、農政部、水産林務部、建設部及び教育委員会とすることに決定。ただし、選挙管理委員会は総合政策部に、労働委員会は経済部に、海区漁業調整委員会、連合海区漁業調整委員会及び内水面漁場管理委員会は水産林務部に、収用委員会は建設部に含めることに決定。
各分科会に付託する議案は、別紙付託議案一覧のとおりとすることに決定。
企業会計及び各分科会において保留となった事項については、本委員会において総括質疑を行うことに決定。
- ③ 分科委員の選任について、各分科会の委員は、別紙分科委員名簿のとおりとすることに決定。

○第1分科会（委員13人）

小林千代美（民主）	今津 寛史（自民）
高田 真次（自民）	藤井 辰吉（自民）
丸山はるみ（共産）	中村 守（公明）
檜垣 尚子（自民）	安住 太伸（自民）
赤根 広介（結志）	稲村 久男（民主）
高橋 亨（民主）	三好 雅（自民）
藤沢 澄雄（自民）	

○第2分科会（委員13人）

岡田 遼（民主）	板谷よしひさ（自民）
戸田 安彦（自民）	水間 健太（自民）
武田 浩光（民主）	植村 真美（自民）
浅野 貴博（自民）	清水 拓也（自民）
畠山みのり（民主）	阿知良寛美（公明）
池本 柳次（結志）	広田まゆみ（民主）
富原 亮（自民）	

- ④ 分科委員長及び分科副委員長の選任について、各分科会は、分科委員長及び分科副委員長各1人を選任することに決定。
- ⑤ 質疑の方法等について、通告の形式により行うこと、発言の順位は本会議における一般質問に準じることに決定。
- ⑥ 議席について、別紙議席表のとおりとすることに決定。
- ⑦ 理事会の設置について、本委員会の運営に当たって、正・副委員長、各分科会の正・副委員長及び分科会正・副委員長の配分のない会派から1人の理事をもって構成する理事会を設置し、その協議により運営することに決定。なお、諸派についても理事会に出席願うこととし、委員長の許可を得て発言することができるものとすることに決定。
理事に、安住太伸委員（自民）、浅野貴博委員（自民）、武田浩光委員（民主）、稲村久男委員（民主）、赤根広介委員（結志）、中村守委員（公明）を選出。
- ⑧ 委員の異動等について、委員の交代は原則として認めないこと、分科委員の所属変更は、申出書を、原則として当日の理事会開催前までに提出し、委員長の承認を受けることに決定。
- ⑨ 委員外委員の発言の取扱いについて、発言の申し出があった場合には、委員会に諮り決定することとし、発言を許可する場合は、委員の質疑・質問終了後の発言とすることに決定。
- ⑩ 資料要求については、理事会において検討し、委員会の決定により行うことに決定。

■ 10月2日（木） 開議 午後2時51分
散会 午後3時18分
第1委員会室
委員長 船橋 賢二（自民）

- ① 決算概要並びに決算審査意見に関する説明聴取について、総務部長、建設部長、公営企業管理者及び道立病院部長から決算概要について、代表監査委員から決算審査意見について説明。
- ② 決算審査に必要な資料要求について、配付の項目により要求することに決定。
- ③ 審査日程及び質疑の方法等について、別紙のとおりとすることに決定。

- ④ 書面審査会の実施について、書面審査室は、第2委員会室に設置し、使用時間は、午前10時から午後5時までとすることに決定。

書面審査の方法は、従前の例により、決算法定書類、証拠書類及び委員会要求に係る提出資料の閲覧並びに関係部局からの説明聴取により行うことに決定。

書面審査室備付資料の室外への持ち出し及び撮影は禁止することに決定。

- ⑤ 閉会中継続審査申出について、議案第18号及び報告第1号ないし第6号を行うことに決定。
- ⑥ 委員会への出席説明員の範囲について、総務部長、建設部長、企業局長、道立病院部長、会計管理者兼出納局長及び監査委員事務局長とすることに決定。

■11月7日（金） 開議 午前10時1分
散会 午後4時54分
第1委員会室
委員長 船橋 賢二（自民）

- ① 10月2日の委員会決定に基づく要求資料の提出が、10月14日にあったことを報告。

- ② 建設部所管（企業会計）に対する質疑に入り、
戸田 安彦 委員（自民）から、

- 1 下水道事業会計について

等について

小林 千代美 委員（民主）から、

- 1 公共下水道事業会計について
2 流域下水道事業会計について

等について質疑、意見及び要望があり、建設部長他から答弁があつて、建設部所管に対する質疑を終結。

- ③ 企業局所管（企業会計）に対する質疑に入り、
植村 真美 委員（自民）から、

- 1 電気事業会計について
2 工業用水道事業会計について

等について

広田 まゆみ 委員（民主）から、

- 1 電気事業会計について
2 工業用水道事業会計について

等について

赤根 広介 委員（結志）から、

- 1 電気事業会計について

- 2 工業用水道事業会計について
等について

丸山 はるみ 委員（共産）から、

- 1 電気事業会計について
2 工業用水道事業会計について

等について質疑、意見及び要望があり、公営企業管理者他から答弁があつて、企業局所管に対する質疑を終結。

- ④ 道立病院局所管（企業会計）に対する質疑に入り、

高田 真次 委員（自民）から、

- 1 病院事業会計について

等について

武田 浩光 委員（民主）から、

- 1 病院事業会計について

等について

赤根 広介 委員（結志）から、

- 1 病院事業会計について

等について

丸山 はるみ 委員（共産）から、

- 1 病院事業会計について

等について質疑、意見及び要望があり、病院事業管理者他から答弁があつて、道立病院局所管に対する質疑を終結。

第1分科会

■9月24日（水） 開会 午後5時43分
散会 午後5時50分
第1委員会室
第1分科委員長
安住 太伸（自民）

- ① 分科委員長に安住太伸委員（自民）、分科副委員長に稲村久男委員（民主）を選出。

- ② 審査の方法、審査日程、質疑の方法等、理事会の設置、分科委員の異動等、分科委員外委員及び委員外議員の発言の取扱い、議席、次回分科会の開催予定について決定。

理事に、檜垣尚子委員（自民）、小林千代美委員（民主）、赤根広介委員（結志）、中村守委員（公明）を選出。

■10月2日（木） 開議 午後3時23分
散会 午後3時24分
第1委員会室
第1分科委員長
安住 太伸（自民）

- ① 配付の資料のとおり付託議件の審査日程及び
質疑の方法等を決定。

■11月10日（月） 開議 午前10時1分
散会 午後5時31分
第2委員会室
第1分科委員長
安住 太伸（自民）

- ① 公安委員会所管に対する質疑に入り、
高田 真次 委員（自民）から、

- 1 交通安全施設について
- 2 交通安全対策について

等について質疑、意見及び要望があり、交通部長他から答弁があつて、公安委員会所管に関する質疑を終結。

- ② 保健福祉部所管に対する質疑に入り、
藤井 辰吉 委員（自民）から、

- 1 感染症対策について
- 2 介護福祉施策について
- 3 難病対策について
- 4 地域医療の確保について
- 5 子ども政策について

等について

小林 千代美 委員（民主）から、

- 1 保育施策について

等について

赤根 広介 委員（結志）から、

- 1 障がい者政策について
- 2 介護事業について

等について

稲村 久男 委員（民主）から、

- 1 地域医療問題について
- 2 医療福祉分野の人材確保について
- 3 感染症対策について

等について

中村 守 委員（公明）から、

- 1 室蘭児童相談所苫小牧分室について

等について

丸山 はるみ 委員（共産）から、

- 1 国民健康保険について
- 2 生活保護について

等について質疑、意見及び要望があり、保健福祉部長他から答弁があつて、総括質疑に保留された事項を除き、保健福祉部所管に関する質疑を終結。

- ③ 環境生活部所管に対する質疑に入り、
檜垣 尚子 委員（自民）から、

- 1 野生鳥獣対策について
- 2 女性活躍について
- 3 交通安全の推進に向けた取組について
- 4 縄文世界遺産の活用について
- 5 土壌汚染対策について

等について

小林 千代美 委員（民主）から、

- 1 アイヌ施策について
- 2 ヒグマ対策について

等について質疑、意見及び要望があり、環境生活部長他から答弁があつて、議事進行の都合により散会。

■11月11日（火） 開議 午前10時
散会 午後6時26分
第2委員会室
第1分科委員長
安住 太伸（自民）

- ① 環境生活部所管に対する質疑を継続し、
藤沢 澄雄 委員（自民）から、

- 1 アイヌ施策について

等について

赤根 広介 委員（結志）から、

- 1 野生鳥獣対策について
- 2 スポーツ政策について
- 3 流氷科学センターについて

等について

中村 守 委員（公明）から、

- 1 ヒグマ対策について
- 2 安全・安心なまちづくりについて

等について

丸山 はるみ 委員（共産）から、

- 1 生物多様性等について
- 2 人権擁護施策等について

3 女性活躍について

4 ヒグマ対策等について

等について質疑、意見及び要望があり、環境生活部長他から答弁があって、総括質疑に保留された事項を除き、環境生活部所管に関する質疑を終結。

② 総合政策部所管に対する質疑に入り、
今津 寛史 委員（自民）から、

- 1 官民連携の推進について
- 2 外国人の受入れと共生について
- 3 国際交流員の活用について
- 4 海外展開について
- 5 交通政策について

等について

小林 千代美 委員（民主）から、

- 1 ふるさと納税について
- 2 通信インフラについて

等について

藤井 辰吉 委員（自民）から、

- 1 地域づくり総合交付金について

等について

赤根 広介 委員（結志）から、

- 1 多文化共生と外国人材の確保について
- 2 交通政策について

等について

中村 守 委員（公明）から、

- 1 空港問題について
- 2 道内地方空港における人材確保対策について
- 3 外国人との共生について

等について

丸山 はるみ 委員（共産）から、

- 1 航空施策等について

等について質疑、意見及び要望があり、総合政策部長兼地域振興監他から答弁があって、総括質疑に保留された事項を除き、総合政策部所管に関する質疑を終結。

■11月12日（水） 開議 午前10時
閉会 午後3時55分
第2委員会室
第1分科委員長
安住 太伸（自民）

① 総務部所管に対する質疑に入り、
高田 真次 委員（自民）から、

1 私立学校への支援等について

2 道有資産の処分及び有効活用について

3 安心して働き続けられる職場環境づくりについて

4 行財政運営について

等について

小林 千代美 委員（民主）から、

- 1 財政運営について
- 2 情報公開について

等について

赤根 広介 委員（結志）から、

- 1 札幌医科大学の経営状況等について
- 2 行財政運営について
- 3 防災・減災対策について

等について

高橋 亨 委員（民主）から、

- 1 泊原発について

等について

中村 守 委員（公明）から、

- 1 庁舎の維持管理等について
- 2 情報セキュリティについて
- 3 災害対策について
- 4 私立学校における不登校・学び直しについて

等について

丸山 はるみ 委員（共産）から、

- 1 道立施設の管理運営等について
- 2 会計年度任用職員について

等について質疑、意見及び要望があり、総務部長兼北方領土対策本部長他から答弁があって、総括質疑に保留された事項を除き、総務部所管に関する質疑を終結。

第2分科会

■9月24日（水） 開会 午後5時44分
散会 午後5時51分
第3委員会室
第2分科委員長
浅野 貴博（自民）

- ① 分科委員長に浅野貴博委員（自民）、分科副委員長に武田浩光委員（民主）を選出。
- ② 審査の方法、審査日程、質疑の方法等、理事会の設置、分科委員の異動等、分科委員外委員

及び委員外議員の発言の取扱い、議席、次回分科会の開催予定について決定。

理事に、植村真美委員（自民）、岡田遼委員（民主）、池本柳次委員（結志）、阿知良寛美委員（公明）を選出。

■10月2日（木） 開議 午後3時23分
散会 午後3時24分
第3委員会室
第2分科委員長
浅野 貴博（自民）

① 配付の資料のとおり付託議件の審査日程及び質疑の方法等を決定。

■11月10日（月） 開議 午前10時2分
散会 午後3時53分
第3委員会室
第2分科委員長
浅野 貴博（自民）

① 建設部所管に対する質疑に入り、
板谷 よしひさ 委員（自民）から、

- 1 橋梁の老朽化対策について
- 2 道道の除排雪対応について
- 3 道営住宅について

等について

岡田 遼 委員（民主）から、

- 1 ゼロ道債について
- 2 道路新設改良費について
- 3 道営住宅について

等について

池本 柳次 委員（結志）から、

- 1 流域治水について
- 2 営繕業務について

等について

広田 まゆみ 委員（民主）から、

- 1 建設業の働き方改革などについて
- 2 ほっかいどう道路整備プログラムについて
- 3 住まいのゼロカーボン化推進事業について
- 4 景観条例について

等について質疑、意見及び要望があり、建設部長他から答弁があつて、建設部所管に関する質疑を終結。

② 水産林務部所管に対する質疑に入り、
植村 真美 委員（自民）から、

- 1 水産基盤整備事業について
- 2 道産水産物の消費拡大について
- 3 赤潮対策について
- 4 スマート林業について
- 5 ナラ枯れについて
- 6 国土強靱化について
- 7 適切な森林の保全について
- 8 森林環境譲与税について

等について

岡田 遼 委員（民主）から、

- 1 漁港の維持管理について
- 2 道産水産物の輸出拡大について
- 3 森林環境譲与税について
- 4 水産林務分野における担い手対策について

等について

池本 柳次 委員（結志）から、

- 1 森林環境譲与税について

等について

広田 まゆみ 委員（民主）から、

- 1 障がい者雇用の推進などについて
- 2 森林整備地域活動支援交付金制度の事業効果などについて

等について

阿知良 寛美 委員（公明）から、

- 1 日本海サクラマス対策について
- 2 道産建築材の利用拡大等について

等について質疑、意見及び要望があり、水産林務部長他から答弁があつて、水産林務部所管に関する質疑を終結。

■11月11日（火） 開議 午前10時1分
散会 午後5時15分
第3委員会室
第2分科委員長
浅野 貴博（自民）

① 農政部所管に対する質疑に入り、
戸田 安彦 委員（自民）から、

- 1 新顔冬野菜の推進について
- 2 道産農産物等の温室効果ガス削減に向けた取組について
- 3 飼料自給率の向上について
- 4 スマート農業の推進について

- 5 醸造用ブドウ生産の推進について
- 6 農業農村整備の推進について
- 7 高病原性鳥インフルエンザ対策について等について

岡田 遼 委員（民主）から、

- 1 道営競馬について
- 2 農業大学校について
- 3 家畜伝染病予防について
- 4 野生鳥獣による被害について等について

池本 柳次 委員（結志）から、

- 1 鳥獣による農業被害防止対策について
- 2 酪農振興対策について等について

畠山 みのり 委員（民主）から、

- 1 米の需給問題について
- 2 パワーアップ事業について等について

阿知良 寛美 委員（公明）から、

- 1 道産農畜産物等の輸出拡大について
- 2 パワーアップ事業について
- 3 高病原性鳥インフルエンザ対策について等について

広田 まゆみ 委員（民主）から、

- 1 障がい者雇用の推進などについて
- 2 有機農業の推進について
- 3 地理的表示制度について等について質疑、意見及び要望があり、農政部長他から答弁があつて、総括質疑に保留された事項を除き、農政部所管に関する質疑を終結。

② 経済部所管に対する質疑に入り、

植村 真美 委員（自民）から、

- 1 食と観光の推進について
- 2 ゼロカーボン北海道の推進について
- 3 物価高対策について
- 4 中小・小規模企業への支援について等について

岡田 遼 委員（民主）から、

- 1 道立高等技術専門学院について
- 2 中小企業支援費について
- 3 道産食品の販路拡大について等について

水間 健太 委員（自民）から、

- 1 地域産業の振興について

- 2 雇用対策の推進について
- 3 民泊について等について

畠山 みのり 委員（民主）から、

- 1 物価高騰対策について
- 2 エネルギー政策について等について質疑、意見及び要望があり、経済部長他から答弁があつて、議事進行の都合により散会。

■11月12日（水） 開議 午前10時1分
閉会 午後3時53分
第3委員会室
第2分科委員長
浅野 貴博（自民）

① 経済部所管に対する質疑を継続し、

池本 柳次 委員（結志）から、

- 1 ゼロカーボン北海道推進基金について
- 2 観光振興について
- 3 物価高騰対策について等について

阿知良 寛美 委員（公明）から、

- 1 景気・経済対策について
- 2 中小企業支援について
- 3 再生可能エネルギー等の推進について等について

広田 まゆみ 委員（民主）から、

- 1 第2期北海道雇用・人材対策基本計画について
- 2 石狩湾新港地域について
- 3 北海道食品機能性表示制度について
- 4 地理的表示制度について等について

山崎 真由美 議員（維新）から、

- 1 観光人材発掘事業について
- 2 A Tガイド能力向上事業について等について質疑、意見及び要望があり、経済部長他から答弁があつて、総括質疑に保留された事項を除き、経済部所管に関する質疑を終結。

② 教育委員会所管に対する質疑に入り、

板谷 よしひさ 委員（自民）から、

- 1 学校における暑さ対策について
- 2 スクールカウンセラーの任用について

- 3 文化施設等の指定管理について
- 4 学校における働き方改革について

- 等について
- 武田 浩光 委員（民主）** から、
- 1 北海道公立学校情報機器整備基金補助事業について
 - 2 いじめ等対策総合推進事業について
 - 3 スクール・サポート・スタッフについて
 - 4 部活動の地域移行支援事業について
- 等について

- 水間 健太 委員（自民）** から、
- 1 学校における医療的ケア児への支援について
 - 2 特別支援教育について
- 等について

- 池本 柳次 委員（結志）** から、
- 1 産業人材の育成について
- 等について
- 阿知良 寛美 委員（公明）** から、
- 1 道立学校の廃校舎の利活用について
 - 2 地域産業を支える人材育成について
 - 3 学校における暑さ対策について
- 等について質疑、意見及び要望があり、教育長他から答弁があって、教育委員会所管に関する質疑を終結。

決算特別委員会

■11月13日（木） 開議 午前10時2分
閉会 午後4時50分
第1委員会室
委員長 船橋 賢二（自民）

- ① 各分科委員長から、それぞれ分科会における審査の経過について報告。
- ② 本委員会及び各分科会において保留された事項について、**知事に対する総括質疑**に入り、
檜垣 尚子 委員（自民） から、
 - 1 野生鳥獣対策について
 - 2 地域づくり総合交付金について
 - 3 行財政運営について
 - 4 農業農村整備の推進について
 - 5 ゼロカーボン北海道の推進について
 - 6 物価高対策について等について

- 畠山 みのり 委員（民主）** から、
- 1 財政運営について
 - 2 物価高騰対策について
 - 3 エネルギー政策について
 - 4 ヒグマ対策について
 - 5 地域医療問題について
 - 6 情報公開について
 - 7 家畜伝染病予防について
 - 8 米の需給問題について
 - 9 パワーアップ事業について
- 等について

- 赤根 広介 委員（結志）** から、
- 1 野生鳥獣対策について
 - 2 防災・減災対策について
 - 3 物価高騰対策について
 - 4 行財政運営について
- 等について

- 阿知良 寛美 委員（公明）** から、
- 1 ヒグマ対策について
 - 2 安全・安心なまちづくりについて
 - 3 空港問題について
 - 4 景気・経済対策について
 - 5 再生可能エネルギー等の推進について
- 等について

- 丸山 はるみ 委員（共産）** から、
- 1 人権擁護施策等について
 - 2 生物多様性等について
- 等について質疑、意見及び要望があり、知事から答弁があって、総括質疑を終結。

- ③ 付託議案に対する意見調整は、理事会で行うことに決定。
- ④ 理事会において付託議案に対する意見調整の結果、報告第1号、第2号及び第5号については、意見の一致を見るに至らなかった旨の報告の後、討論に入り、丸山はるみ委員（共産）から反対討論があって討論終結。
採決に入り、報告第1号、第2号及び第5号を問題とし、起立採決の結果、起立多数によりいずれも認定議決とすることに決定。
議案第18号、報告第3号、第4号及び第6号を問題とし、議案は原案可決、報告はいずれも認定議決とすることに異議なく決定。
- ⑤ 付託議案に対する委員長報告文については、委員長に一任することに決定。
- ⑥ 委員長から、付託議案に対する審議終了の挨拶があり閉会。

資 料

令和 7 年提出案件の議決状況

知事提出案件

定例会	提 出 件 数					計	議 決 件 数						報告のみ	計
	予 算	条 例	その他議案	諮 問	報 告		原案可決	承認議決	同意議決	認定議決	修正議決	継続審査		
1 臨	3	—	—	—	1	4	3	—	—	—	—	—	1	4
1 定	34	32	9	—	3	78	73	—	2	—	—	—	3	78
2 定	2	11	9	—	10	32	18	1	3	—	—	—	10	32
3 定	3	8	21	—	12	44	21	—	4	—	—	7	12	44
4 定	3	20	4(7)	—	4	31(7)	26(1)	—	1	(6)	—	—	4	31(7)
合 計	45	71	43(7)	—	30	189(7)	141(1)	1	10	(6)	—	7	30	189(7)

注：（ ） 内は継続審査に係る議決件数を示し、外数である。

議員又は委員会提出案件

定例会	提 出 件 数				計	議 決 件 数				計
	会議案	決議案	意見案	動 議		原案可決	否 決	継続審査	修正議決	
1 定	2	1	5	1	9	8	1	—	—	9
2 定	—	—	6	—	6	6	—	—	—	6
3 定	—	—	3	—	3	3	—	—	—	3
4 定	—	2	5	—	7	5	2	—	—	7
合 計	2	3	19	1	25	22	3	—	—	25

令和 7 年請願の審査状況

定例会	前会からの継続審査	新規受理	採 択	不 採 択	審議未了	議決不要	取 下 げ	継続審査
1 定	16	1	—	—	—	—	1	16
2 定	16	3	—	—	—	—	—	19
3 定	19	3	—	—	—	—	—	22
4 定	22	3	—	—	—	—	3	22
合 計		10	—	—	—	—	4	

注：議決不要、取下げの件数のうち、閉会中に処理したものは直近の定例会に含む。

令和7年議員又は委員会提出案件一覧

会 議 案

定例会	番号	件 名	提 出 者	提 出 日 年 月 日	議 決 日 年 月 日	議 決 状 況
1 定	1	北海道食品ロス削減推進条例案	三好 雅 議員ほか13人	7. 2. 19	7. 3. 18	原案可決
	2	北海道議会の保有する個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例案	三好 雅 議員ほか10人	7. 3. 18	7. 3. 18	原案可決

決 議 案

定例会	番号	件 名	提 出 者	提 出 日 年 月 日	議 決 日 年 月 日	議 決 状 況
1 定	1	特別委員会の名称及び調査事項に関する決議	議会運営委員長 船橋 賢二	7. 3. 18	7. 3. 18	原案可決
4 定	1	北海道電力泊発電所3号機再稼働における拙速な同意の撤回と十分な審議時間の保障を求める決議	池端 英昭 議員ほか4人	7. 12. 12	7. 12. 12	否 決
	2	北海道のエネルギー供給体制の確立と泊発電所3号機再稼働について慎重審議を求める決議	佐藤 伸弥 議員ほか4人	7. 12. 12	7. 12. 12	否 決

意 見 案

定例会	番号	件 名	提 出 者	提 出 日 年 月 日	議 決 日 年 月 日	議 決 状 況
1 定	1	インターネット、SNSを利用した犯罪被害の防止対策並びに誹謗中傷等の抑止及び被害者救済を求める意見書	太田 憲之 議員ほか5人	7. 3. 17	7. 3. 18	原案可決
	2	将来にわたり安全安心な医療・介護制度の提供を求める意見書	保健福祉委員長 畠山 みのり	7. 3. 17	7. 3. 18	原案可決
	3	セーフティネットである高額療養費制度の堅持を求める意見書	保健福祉委員長 畠山 みのり	7. 3. 17	7. 3. 18	原案可決
	4	持続可能な学校の実現に必要な教育指導体制の充実を求める意見書	文教委員長 大越 農子	7. 3. 17	7. 3. 18	原案可決
	5	北海道新幹線（新函館北斗・札幌間）の整備促進に関する意見書	三好 雅 議員ほか4人	7. 3. 17	7. 3. 18	原案可決
2 定	1	地方財政の充実・強化に関する意見書	清水 拓也 議員ほか5人	7. 7. 3	7. 7. 4	原案可決
	2	事前復興まちづくり計画の策定支援を求める意見書	清水 拓也 議員ほか5人	7. 7. 3	7. 7. 4	原案可決
	3	ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書	水産林務委員長 浅野 貴博	7. 7. 3	7. 7. 4	原案可決
	4	国土強靱化に資する道路の整備等に関する意見書	建設委員長 道見 泰憲	7. 7. 3	7. 7. 4	原案可決
	5	義務教育の機会均等の確保と教育予算の確保・拡充を求める意見書	文教委員長 太田 憲之	7. 7. 3	7. 7. 4	原案可決
	6	私学助成制度に係る財源措置の充実強化に関する意見書	文教委員長 太田 憲之	7. 7. 3	7. 7. 4	原案可決

定例会	番号	件名	提出者	提出 年月日	議決 年月日	議決 状況
3 定	1	緊急統廃制度などヒグマ対策のさらなる推進を求める意見書	清水 拓也 議員ほか5人	7.10. 2	7.10. 3	原案可決
	2	リハビリテーション専門職（理学療法士、作業療法士、言語聴覚士）の確保や処遇改善を求める意見書	保健福祉委員長 中川 浩利	7.10. 2	7.10. 3	原案可決
	3	北方領土問題の解決促進等を求める意見書	北方領土対策特別委員長 久保秋 雄太	7.10. 2	7.10. 3	原案可決
4 定	1	教育課程の過密化の適正化を求める意見書	林 祐作 議員ほか5人	7.12.11	7.12.12	原案可決
	2	巨大災害発生に対する対応体制整備を求める意見書	林 祐作 議員ほか5人	7.12.11	7.12.12	原案可決
	3	危機的状況にある自治体病院の存続に向けた財政支援を求める意見書	林 祐作 議員ほか5人	7.12.11	7.12.12	原案可決
	4	2027年度介護保険制度改正に向けた意見書	保健福祉委員長 中川 浩利	7.12.11	7.12.12	原案可決
	5	私立専修学校等における専門職業人材の育成機能の強化等を求める意見書	文教委員長 太田 憲之	7.12.11	7.12.12	原案可決

動 議

定例会	件名	提出者	提出 年月日	議決 年月日	議決 状況
1 定	議案第1号令和7年度北海道一般会計予算については撤回し、組替えの上再提出を求める動議	梶谷 大志 議員ほか4人 (賛成者 5名)	7. 3.17	7. 3.18	否 決

令和7年請願一覧

(継審＝継続審査、議不＝議決不要、不採＝不採択、取下＝取下げ)

受 理 号	件 名	受 理 年月日	付 託 年月日	付 託 委員会	審 査 結 果
1	新登別大橋への高欄設置についての件	5. 6. 13	5. 6. 22	保健福祉	1定継審 2定継審 3定継審 4定継審
2	特定放射性廃棄物最終処分場選定に係る概要調査に反対する決議等を求める件	5. 6. 15	5. 6. 22	産炭地域振興・エネルギー調査	1定継審 2定継審 3定継審 4定継審
3	北海道における特定放射性廃棄物最終処分施設建設地選定に係る調査反対及び最終処分法を見直すよう国に求める件	5. 6. 15	5. 6. 22	産炭地域振興・エネルギー調査	1定継審 2定継審 3定継審 4定継審
4	北海道における特定放射性廃棄物最終処分施設建設地選定に係る調査反対及び最終処分法見直しを求める件	5. 6. 16	5. 6. 22	産炭地域振興・エネルギー調査	1定継審 2定継審 3定継審 4定継審
5	北海道における特定放射性廃棄物最終処分施設建設地選定に係る調査中止及び最終処分地の受入れをしないことを求める件	5. 6. 19	5. 6. 22	産炭地域振興・エネルギー調査	1定継審 2定継審 3定継審 4定継審
6	北海道のどこにも核のごみ（高レベル放射性廃棄物・特定放射性廃棄物）の最終処分場を設置しないよう国に求める意見書提出を求める件	5. 6. 27	5. 7. 5	産炭地域振興・エネルギー調査	1定継審 2定継審 3定継審 4定継審
7	地層処分・核燃料サイクル政策の見直しを国に求める決議についての件	5. 7. 21	5. 9. 12	産炭地域振興・エネルギー調査	1定継審 2定継審 3定継審 4定継審
8	寿都町・神恵内村で行われている特定放射性廃棄物の最終処分地選定に向けた文献調査から概要調査への移行に反対する決議を求める件	5. 7. 21	5. 9. 12	産炭地域振興・エネルギー調査	1定継審 2定継審 3定継審 4定継審
9	「東京電力福島第一原子力発電所で発生し、多核種除去システムにより処理された汚染水を海洋放出するとの政府方針の撤回、もしくは海洋放出の即時中止を政府に求める意見書」の提出を求める件	5. 8. 15	5. 9. 12	産炭地域振興・エネルギー調査	1定継審 2定継審 3定継審 4定継審
10	発電施設設置に関する北海道独自のガイドラインの作成及び条例制定を求める件	5. 9. 13	5. 9. 27	産炭地域振興・エネルギー調査	1定継審 2定継審 3定継審 4定継審
11	「福島第一原発のALPS処理水の海洋放出を直ちに中止し、処理水減容の抜本的対策を求める意見書」の提出を求める件	5. 11. 22	5. 11. 28	産炭地域振興・エネルギー調査	1定継審 2定継審 3定継審 4定継審
15	「物価上昇に見合う高齢基礎年金等の引上げを国に求める意見書」の提出を求める件	6. 2. 9	6. 2. 21	保健福祉	1定継審 2定継審 3定継審 4定継審

受 理 番 号	件 名	受 理 年 月 日	付 託 年 月 日	付 託 委 員 会	審 査 結 果
16	北海道の子どもたちにゆきとどいた教育を求める件	6. 2. 13	6. 2. 21	文 教	1定取下
19	ゆたかな私学教育の実現を求める私学助成に関する件	6. 11. 29	6. 12. 3	文 教	1定継審 2定継審 3定継審 4定取下
20	私立学校生徒の学費無償化を求める件	6. 11. 29	6. 12. 3	文 教	1定継審 2定継審 3定継審 4定取下
21	私学の経常費及び授業料助成の増額に関する件	6. 12. 6	6. 12. 11	文 教	1定継審 2定継審 3定継審 4定取下
22	北海道の子どもたちにゆきとどいた教育を求める件	7. 2. 10	7. 2. 19	文 教	1定継審 2定継審 3定継審 4定継審
23	発電設備設置に関する北海道独自の施設撤去・廃棄費用前受金制度制定を求める件	7. 6. 20	7. 6. 25	産炭地域振興・ GX推進・ エネルギー調査	2定継審 3定継審 4定継審
24	北海道における特定放射性廃棄物最終処分施設建設地選定に係る調査及び施設受入れに関する北海道民の意思を問う住民投票実施を求める件	7. 6. 20	7. 6. 25	産炭地域振興・ GX推進・ エネルギー調査	2定継審 3定継審 4定継審
25	北海道電力泊原子力発電所の安全性審査に関する原子力規制委員会の新規制基準に適合するという審査結果案の了承を見直すよう国に進言を求める件	7. 7. 1	7. 7. 4	産炭地域振興・ GX推進・ エネルギー調査	2定継審 3定継審 4定継審
26	北海道電力泊原子力発電所3号機の再稼働についての件	7. 9. 25	7. 10. 3	産炭地域振興・ GX推進・ エネルギー調査	3定継審 4定継審
27	北海道電力泊原子力発電所3号機の再稼働についての件	7. 9. 25	7. 10. 3	産炭地域振興・ GX推進・ エネルギー調査	3定継審 4定継審
28	原子力防災計画の実効性が確認されるまで泊原子力発電所3号機の再稼働に反対することについての件	7. 9. 25	7. 10. 3	産炭地域振興・ GX推進・ エネルギー調査	3定継審 4定継審
29	ゆたかな私学教育の実現を求める私学助成に関する件	7. 11. 28	7. 12. 3	文 教	4定継審
30	私立学校生との学費無償化を求める件	7. 11. 28	7. 12. 3	文 教	4定継審
31	私学の経常費及び授業料助成の増額に関する件	7. 11. 28	7. 12. 3	文 教	4定継審

北海道議会議席表

令和7年10月

自民党・道民会議
53名

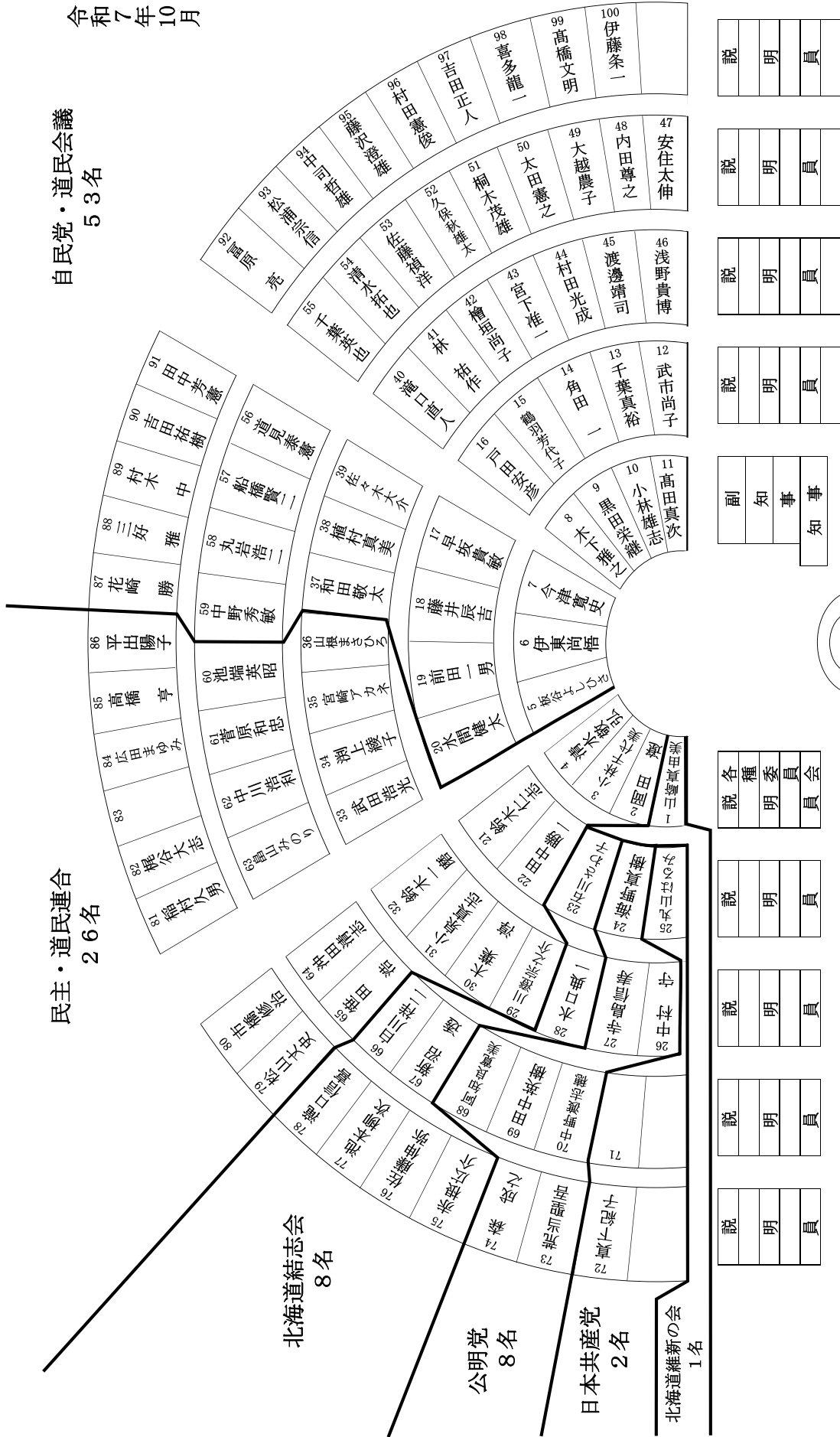
民主・道民連合
26名

北海道結志会
8名

公明党
8名

日本共産党
2名

北海道維新の会
1名



演壇

事務局職員

議長 事務局長

説明員

説明員

説明員

説明員

副知事

知事

説明員

説明員

説明員

説明員

説明員

説明員

説明員

11月の出来事

- 2日 ○米大リーグのワールドシリーズはカナダ・トロントで第7戦が行われ、ナ・リーグ覇者のロサンゼルス・ドジャースが、ア・リーグ覇者のトロント・ブルージェイズを延長11回、5－4で下し、通算4勝3敗で2年連続9度目の優勝を果たした。シリーズ3勝を挙げた山本由伸選手が最優秀選手（MVP）に選ばれた。
- 5日 ○水産庁は、小型船（5トン以上30トン未満）によるスルメイカ釣り漁の2025年漁期（2025年4月～2026年3月）の漁獲量（TAC）を、資源量の回復などを踏まえ、857トン増の5,757トンとすることを決定した。ただし、すでに漁獲量が5,896トンに達しているため、禁漁は来年3月末まで継続される見通し。
- 6日 ○北海道が道民を対象に実施した人口減少に関する意識調査で、現在住む市町村の人口減少に「非常に危機感を感じている」「危機感を感じている」と回答した人は計60.9%に上った。半数以上が交通の利便性低下や若者の減少といった影響を実感しており、行政対応の遅れに不安を抱く実態が浮き彫りとなった。
- 7日 ○漁獲停止命令が出ている小型イカ釣り漁船によるスルメイカ漁について、道は資源調査を目的に、道内漁業者に限って操業を認める方針を示した。定置網漁などを対象とした道管理の漁獲枠398トンを活用し、12月10日の再開を目指す。
- 13日 ○改正国家公安委員会規則が施行され、警察官によるライフル銃を使ったクマの駆除が可能となった。人的被害が深刻な岩手、秋田県警では機動隊や全国から派遣された銃器対策部隊員が活動を開始。北海道警察も警備部機動隊の銃器対策部隊がヒグマの駆除に当たる方向で検討に入った。
- 20日 ○生成AI（人工知能）で作られた画像を無断で複製したとして、千葉県警は、神奈川県大和市の男性（27）を著作権法違反（複製権侵害）の疑いで千葉地検に書類送検する方針を固めた。起訴を求める「厳重処分」の意見を付ける。AIで作られた画像に著作権があると判断し、同法違反で摘発するのは全国初とみられる。
- 21日 ○東京電力柏崎刈羽原子力発電所の再稼働を巡り、新潟県の花角知事は、容認するとの結論を表明し、「地元同意」の最終手続きを県議会に諮る方針を明らかにした。約1時間の臨時記者会見で、知事は自らの判断の理由や思いを説明。世論を二分する県政最大の懸案だけに、県内から様々な賛否の声が上がった。
- 23日 ○主要20か国・地域（G20）首脳会議は23日、南アフリカのヨハネスブルクで2日間の日程を終えて閉幕した。米国が欠席する中、議長国の南アフリカは開幕直後、議論が始まる前に首脳宣言を半ば強行的に採択した。米国は反発しているが、南アフリカは、来年の議長国を務める米国への引き継ぎ式も行わず、異例の幕引きとなった。
- 25日 ○X（旧twitter）は、アカウントの接続元となる国・地域情報を表示する仕様に変更した。国境を越えた偽情報やなりすまし対策の一環で、政治系アカウントなどに影響が広がっている。
- 26日 ○絶滅のおそれがある野生動植物の国際取引を規制するワシントン条約の締約国会議委員会で、ニホンウナギを含む全ウナギ種の国際取引規制案が否決された。日本国内で消費されるウナギの約7割が輸入に依存しており、規制は見送られる見通しとなった。
- 27日 ○北海道産ワインの普及促進や常設販売の拡大を目的とした「北海道ワインセミナー・試飲商談会」が札幌市で開かれた。宿泊業など道内の事業者約160人が参加し、道産ワインを試飲しながら、ワイナリー担当者の説明に耳を傾けた。
- 28日 ○同性婚を認めない現行法は違憲だとして全国で争われている同性婚訴訟で、憲法24条2項を巡り、1審で「違憲状態」とされた判断が、2審では「合憲」とされ、違憲状態の判断が撤回された。

12月の出来事

- 1日 ○ドラッグストア大手のツルハとウエルシアが経営統合し、売上高2兆円超の巨大なドラッグストアチェーンが誕生した。規模拡大による競争力を生かし、日本だけでなくアジア地域への展開を強化する。
- 大学進学率の算出に用いる「18歳人口」から、特別支援学校出身者を除外していたことが判明した。1999年から同様の取り扱いが行われていたとみられる。文部科学省は謝罪し、算出方法の見直しを検討する考えを示した。一方、政府は差別的意図ではなく、慣行的な対応だったとの認識を示した。
- 2日 ○医療機関や薬局で提示する健康保険証が、マイナンバーカードに保険証機能を持たせた「マイナ保険証」に完全移行した。従来の健康保険証は1日までに有効期限が切れ、取得していない人は「資格確認書」を使用する。
- 8日 ○北海道が公表した秋サケ定置網漁の漁獲速報によると、11月30日時点の全道の漁獲数は、前年同期比64.1%減の561万2,291匹だった。記録が残る1989年以降、1,000万匹を下回るのは初めて。過去最多だった2003年（5,646万匹）の約10分の1となった。専門家は、稚魚期に当たる2022年春の海水温上昇が影響した可能性を指摘している。
- 9日 ○青森県東方沖を震源とするマグニチュード7.5の地震が発生し、青森県内で最大震度6強を観測した。気象庁は、「北海道・三陸沖後発地震注意情報」を初めて発表し、日本海溝・千島海溝沿いで大規模地震が発生する確率が相対的に高まっているとして警戒を呼びかけた。
- 10日 ○オーストラリアで16歳未満のSNS利用を禁止する法律が施行された。X、Instagram、TikTok、YouTubeなどが対象で、登録時の本人確認を義務付ける。違反した事業者には高額な罰金を科す。いじめや性犯罪対策、子どものメンタルヘルズ保護などが目的とされる。
- 11日 ○国立がん研究センター（東京）は、2024年の全国および47都道府県別の「がん死亡率」を公表した。人口10万人当たりのがん死亡者数を示す北海道の死亡率は76.0となり、2023年の75.6から0.4ポイント上昇し悪化した。女性の死亡率が上昇に転じたことが主な要因とされる。北海道は全国で3番目に高い水準となった。
- 13日 ○政府はアイヌ政策推進会議を開き、施行から6年が経過したアイヌ政策推進法（アイヌ新法）について、法改正は行わない方針を示した。同法は差別禁止を定めているものの、罰則のない理念規定にとどまっており、アイヌ民族からは見直しを求める声が上がっていた。
- 17日 ○欧州連合（EU）は、2035年以降も条件付きでガソリン車の販売を認める方針を示し、一律禁止の方針を事実上撤回した。電気自動車の普及が想定より進んでいないことなどを踏まえ、「CO₂排出量を2021年比で9割削減する」との目標に修正した。
- 19日 ○日本銀行は、金融政策決定会合で利上げを決定し、政策金利を0.5%から0.75%に引き上げた。日本では約30年ぶりとなる高水準の金利で、今後の追加利上げの可能性も示唆した。
- 23日 ○政府は、今後3年間で約120万人規模の外国人労働者を受け入れる方針を示した。特定技能制度による受け入れ上限を最大80万人に拡大し、技能実習制度に代わる育成就労制度でも最大42万人を受け入れる。いずれも2029年3月末までに段階的に実施する。
- 30日 ○東京株式市場は30日、今年最後の取引となる大納会を迎え、日経平均株価（225種）の終値は前日比187円44銭（0.37%）安の5万339円48銭だった。年末の株価として初めて5万円を超え、昨年末終値（3万9,894円54銭）と比べて1万円を超える大幅な上昇となった。

その先の、道へ。北海道

北海道議会時報
第77巻第4号



編集 北海道議会事務局政策調査課

〒060-0002

札幌市中央区北2条西6丁目

TEL 011-204-5691

E-Mail gikai.seisaku1@pref.hokkaido.lg.jp

発行 令和8年（2026年）3月27日